第 2 次

旭地区まちづくり計画

2021-2030

集落ビジョン

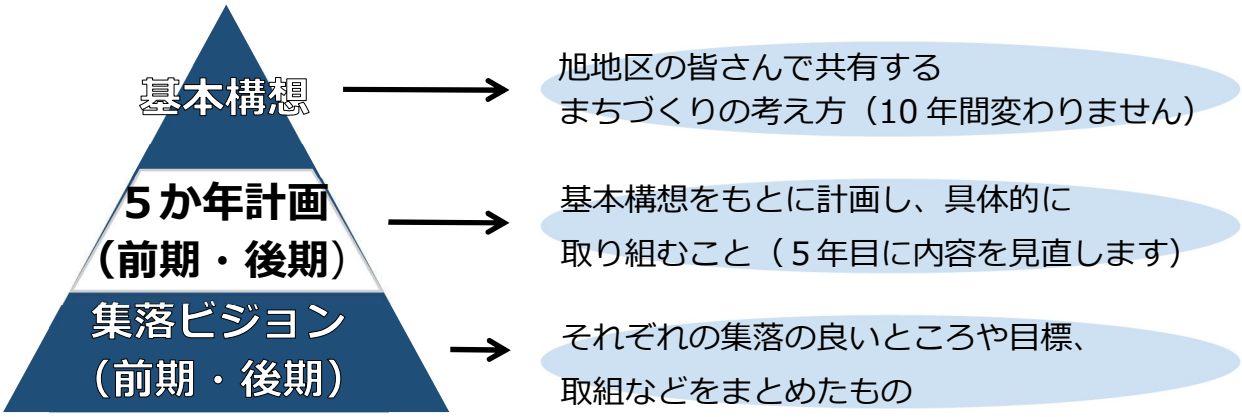
［後期・2026-2030］

つながる、楽しむ。普通が素敵。
だもんで、旭。

旭地域会議

～　集落ビジョン［後期・2026－2030］の策定にあたって　～

●令和２年度に「第２次旭地区まちづくり計画」が策定されました。この計画は、「基本構想」「５か年計画」「集落ビジョン」の３つから成ります。まず、「基本構想」「５か年計画」を定め、第２次旭地区まちづくり計画がスタートしました。



●令和３年度において、町内会ごとに集落の将来像について話し合いを実施し、「集落ビジョン（前期・2021-2025）」を策定しました。また、併せて町内会の基礎データとなる「集落点検カルテ」の更新を行いました。

●令和７年度には、前期計画の５年間を振り返りつつ、各集落の良さや今後の将来像について改めて話し合いを実施し、「集落ビジョン（後期・2026-2030）」を策定しました。

「集落ビジョン」の策定にあたっては、前期計画と同様に、

◎町内会の皆さんで話し合いをする機会を設けることを第一としました。

◎必ずしも新たな取組を定めなくても、前期計画の取組を継続することや、既に実施している取組を推進していくことも可としました。

●「集落ビジョン」と「集落点検カルテ」を掲載したこの冊子は、各町内会のまちづくりの方向性と取組が地域住民に共有され、町内会の皆さん、あるいは、近隣の町内会が協力して活動していける手助けとなることを期待して策定しています。

集落ビジョン　目次

町内会分布図　・・・　３～　４　Ｐ

小渡自治区

田津原町（牛地町含む）　５～　６　Ｐ
閑羅瀬町（小滝野町含む）　７～　８　Ｐ
時瀬町　・・・　９～１０　Ｐ
小渡町　・・・　１１～１２　Ｐ
万町町　・・・　１３～１４　Ｐ

敷島自治区

東萩平町　・・・　２３～２４　Ｐ
大坪町　・・・　２５～２６　Ｐ
榊野・万根町　・・　２７～２８　Ｐ
杉本町　・・・　２９～３０　Ｐ
押井町　・・・　３１～３２　Ｐ
加塩町　・・・　３３～３４　Ｐ
太田町　・・・　３５～３６　Ｐ
小田町　・・・　３７～３８　Ｐ
明賀町　・・・　３９～４０　Ｐ

浅野自治区

島崎町　・・・　５９～６０　Ｐ
下切町　・・・　６１～６２　Ｐ
下中町　・・・　６３～６４　Ｐ
上中町　・・・　６５～６６　Ｐ
上切町　・・・　６７～６８　Ｐ
一色町　・・・　６９～７０　Ｐ
浅谷町　・・・　７１～７２　Ｐ
須渕町　・・・　７３～７４　Ｐ

笹戸自治区

有間町　・・・　１５～１６　Ｐ
笹戸町　・・・　１７～１８　Ｐ
市平町　・・・　１９～２０　Ｐ
池島町　・・・　２１～２２　Ｐ

築羽自治区

惣田町　・・・　４１～４２　Ｐ
小畑町　・・・　４３～４４　Ｐ
伊熊町　・・・　４５～４６　Ｐ
伯母沢町　・・・　４７～４８　Ｐ
槙本町　・・・　４９～５０　Ｐ
日下部町　・・・　５１～５２　Ｐ
坪崎町　・・・　５３～５４　Ｐ
旭八幡町　・・・　５５～５６　Ｐ
余平町　・・・　５７～５８　Ｐ

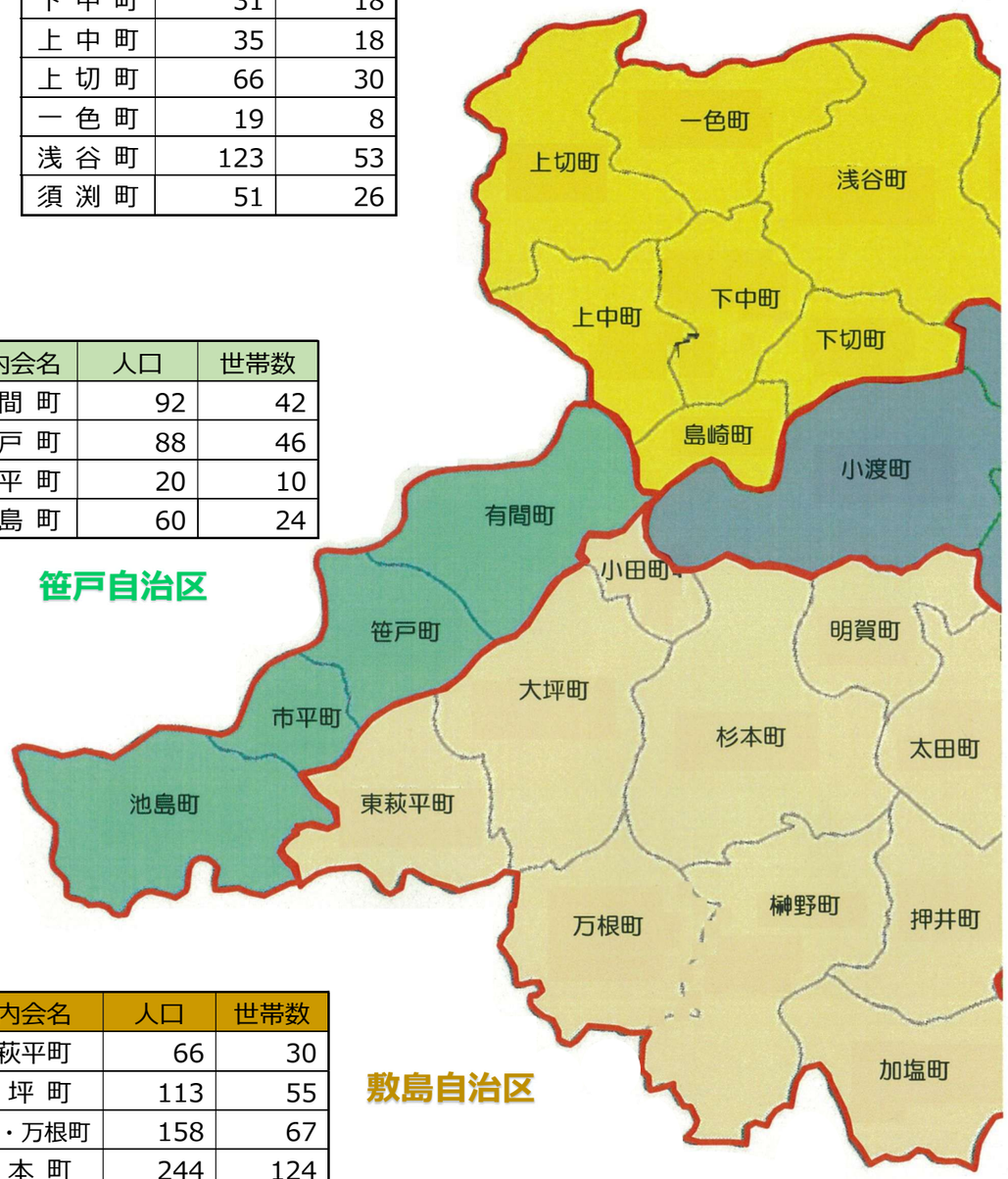
町内会　分布図

浅野自治区

町内会名	人口	世帯数
島 崎 町	58	28
下 切 町	81	33
下 中 町	31	18
上 中 町	35	18
上 切 町	66	30
一 色 町	19	8
浅 谷 町	123	53
須 渕 町	51	26

笹戸自治区

町内会名	人口	世帯数
有 間 町	92	42
笹 戸 町	88	46
市 平 町	20	10
池 島 町	60	24

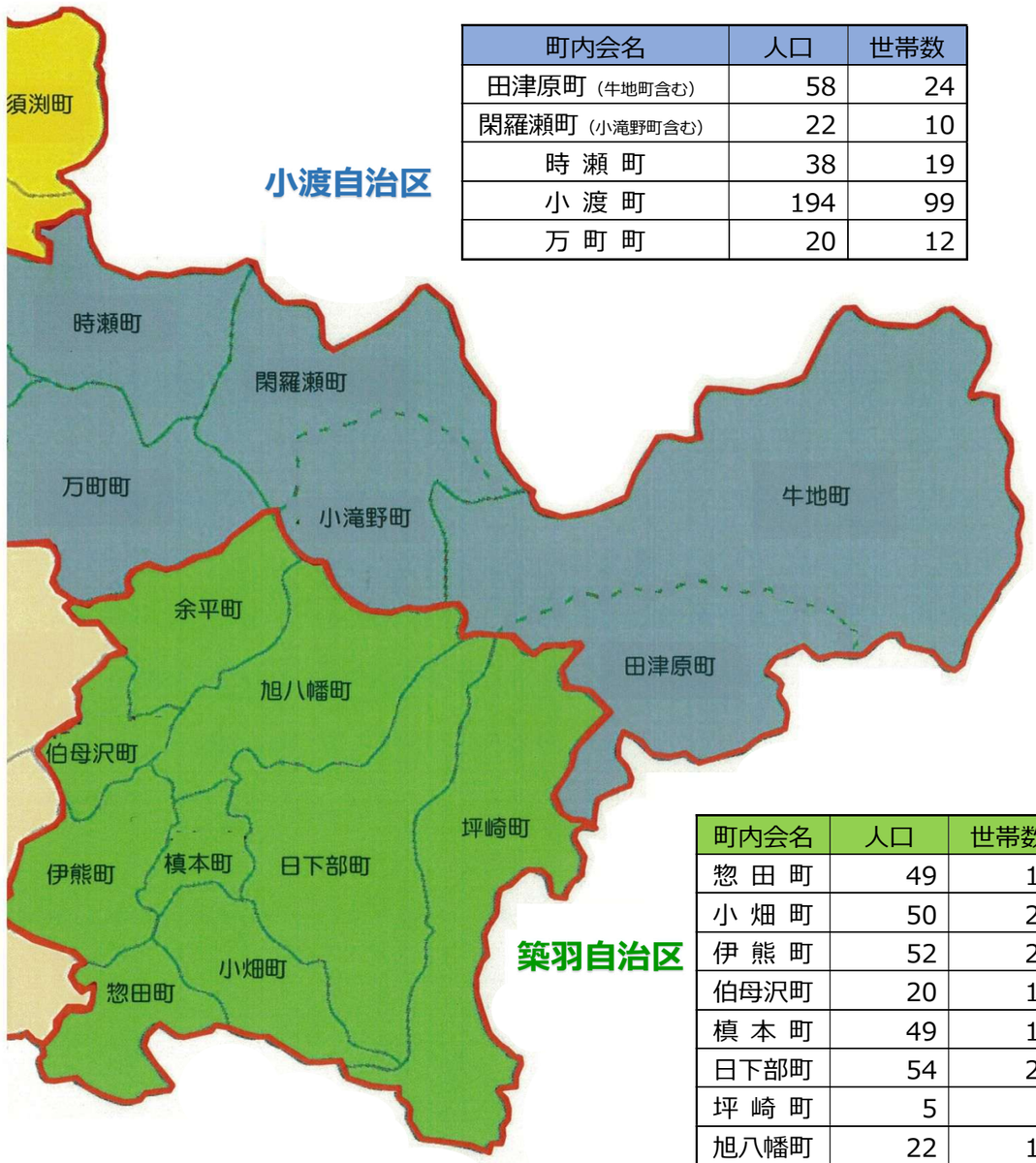


敷島自治区

町内会名	人口	世帯数
東萩平町	66	30
大 坪 町	113	55
榊野・万根町	158	67
杉 本 町	244	124
押 井 町	63	24
加 塩 町	69	28
太 田 町	78	39
小 田 町	16	8
明 賀 町	28	15

小渡自治区

町内会名	人口	世帯数
田津原町（牛地町含む）	58	24
閑羅瀬町（小滝野町含む）	22	10
時 瀬 町	38	19
小 渡 町	194	99
万 町 町	20	12



築羽自治区

町内会名	人口	世帯数
惣 田 町	49	19
小 畑 町	50	22
伊 熊 町	52	25
伯母沢町	20	10
槙 本 町	49	18
日下部町	54	26
坪 崎 町	5	5
旭八幡町	22	11
余 平 町	34	13

※人口・世帯数は令和７年 10 月１日現在の
住民基本台帳による。

田津原町（牛地町含む）集落ビジョン

田津原町の良いところ

・段戸川の渓流や駒山といった、豊かな自然があります。
・中山間や森づくりなど、地域ぐるみでの農地や森林保全活動が盛んです。
・実家を訪れる親密別居者が多く、独居高齢者等の生活の支えとなっています。

田津原町のめざす姿

・若者や高齢者が安心して暮らせる地域にしていきます。
・鳥獣害対策により農家を維持していきます。
・超高齢化でも生きがいのある集落を形成し、最小限の現状維持をしていきます。

田津原町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・高齢化の進む中で、集落行事の見直しや、維持していけること、無理なこと、方法等の検討
・心身ともに健康に老いていくため、ふれあいサロン活動の継続

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・生活道路の整備の促進
→通行支障木の伐採支援事業の推進、県管理道路の草刈り作業の継続
・高齢者が安心して暮らせる防災体制づくり
→防災マップによる避難行動マニュアル、非常用備品の整備

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・農作物を守るために必要な獣害対策の推進
・超高齢者農家の耕作放棄地対策
・過去に整備されたしだれ桃の維持管理

田津原町(牛地町含む)集落点検カルテ

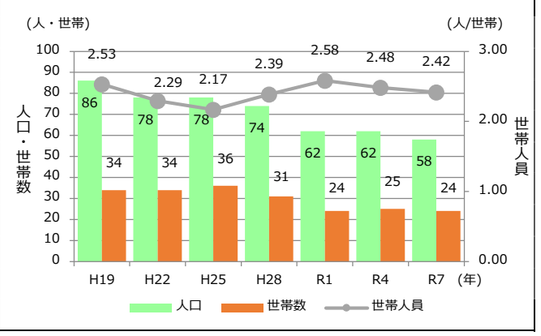
所属自治区	小渡自治区

地区の概要	位　置
●旧旭町の東部、稲武地区との境に位置し、明治以来、生駒村、旭村への合併を繰り返し、豊田市への合併により田津原町となる。平成９年からは、大字牛地を吸収し集落運営をしている。 ●牛地町地内には、旧旭町最高峰の駒山があり、山頂には白鳳年間に建立された小馬寺がある。家畜の安全祈願のため近郷近在から多くの信者が集まったが、現在は山門を残すのみとなった。	

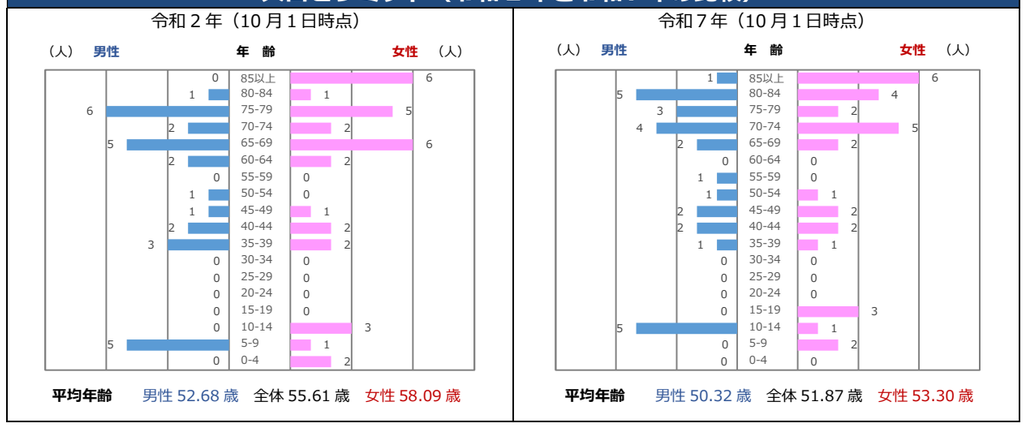
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	グループホーム「いこまハウス」、㈲大嶋組（建設業）、渓流荘（飲食店）
交通状況	地域バス（田津原・田津原河合・田津原お堂・田津原ソラ・田津原下・渓流荘前・牛地・旭大橋） 稲武からのデマンドバス
消防・警察	足助消防署 旭出張所 24 分（12.3 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		1,090ha
人口	計	58 人
	男　性	27 人
	女　性	31 人
	0～14 歳	8 人
	15～64 歳 （30～64 歳）	16 人 （13 人）
	65 歳以上 （75 歳以上）	34 人 （21 人）
世　帯　数		24 世帯
平均世帯人員		2.42 人/世帯

人口・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

閑羅瀬町（小滝野町含む）集落ビジョン

閑羅瀬町の良いところ

・集落が９戸と非常に少なく隣接しているため、連絡や確認がスムーズにでき、集落全体の様子が把握しやすく横のつながりが強いです。
・高齢者が農地及び自然と共に活動できる環境であり、健康的な生活が送られています。

閑羅瀬町のめざす姿

・農地の維持及び遊休農地の保全を通して、現状の姿を維持していきます。

閑羅瀬町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・「閑羅瀬の湖を彩る会」による環境整備等地域内交流
・伝統行事の維持による地域内交流

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・たすけあいカー登録者の推進
・移動販売の維持
・定期的な駐在所の巡回

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・遊休農地の有効活用等、誰もが訪れたくなる持続可能な景観づくりを目指して、元々集落にある自然を強調できる整備を行う
① しだれ桃植栽地や百日紅の管理
② 自生する樹木の適正な管理
③ ダム建設で水没した牛地の桜の老木の適切な管理

閑羅瀬町(小滝野町含む)集落点検カルテ

所属自治区	小渡自治区

地区の概要

●旧旭町の北東部岐阜県境に位置し、集落北端を矢作川が蛇行して流れている。川の曲がり角の土砂体積地に農地を作り、民家は川沿いに集まっている。
●昭和 41 年には、21 戸を数えた民家も、矢作ダムの完成により半数以上が転出した。
●昭和 45 年に完成した矢作ダム水没地にあった上倉の桜の子孫を移植したものが市道わきにある。

位　置

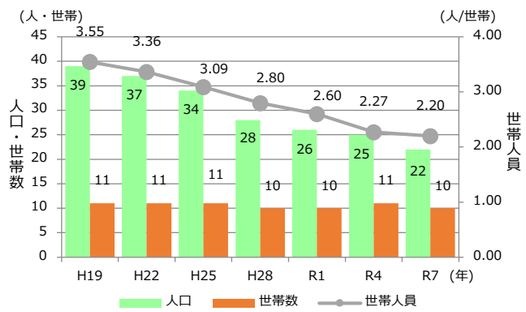
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	国土交通省矢作ダム管理所、愛知県旭高原自然の家
交通状況	地域バス（閑羅瀬・閑羅瀬松根）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 11 分（5.7 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

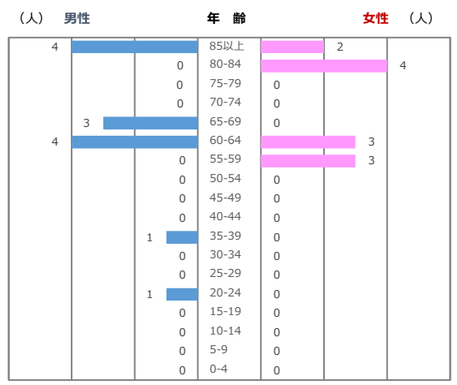
面　積		458ha
人口	計	22 人
	男　性	11 人
	女　性	11 人
	0～14 歳	0 人
	15～64 歳（30～64 歳）	6 人（5 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	16 人（6 人）
世　帯　数		10 世帯
平均世帯人員		2.20 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



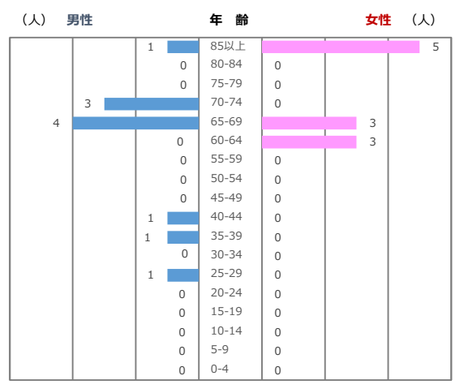
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 66.00 歳　全体 69.12 歳　女性 72.50 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 61.55 歳　全体 68.55 歳　女性 75.55 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

時瀬町 集落ビジョン

時瀬町の良いところ

・時瀬の大イチョウを始めとした四季折々の自然や食といった地域資源が豊富です。
・矢作川の清流に加え、山の水に恵まれた豊かな農産物が自慢です。

時瀬町のめざす姿

・地域の絆を大切にして、ふるさと「時瀬」の地域力を高めます。
・矢作川と豊かな沢の清流に恵まれた地域の魅力・資源を活かして、住み続けられるまちづくりをめざします。

時瀬町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・日頃からの交流を大切にして、助け合い精神の絆を築く

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練を実施し、減災・防災への意識を向上

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・大イチョウの管理を継続するとともに、魅力ある集落をつくる

時瀬町 集落点検カルテ

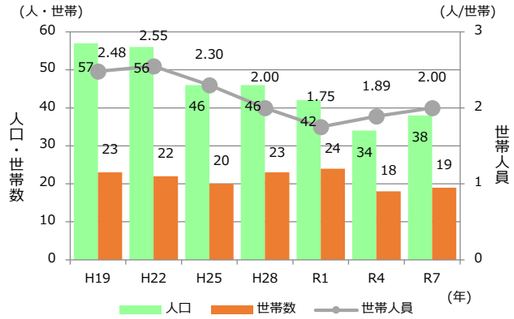
所属自治区	小渡自治区

地区の概要	位　置
●時瀬は、旧旭町の中央北部に位置し、明治以来、介木村、旭村と合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により時瀬町となる。集落北側を流れる矢作川沿いの土石流堆積地に民家、農地が分布しており、上時瀬、下時瀬に分かれている。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	松寿建設㈱（建設業）
交通状況	地域バス（上時瀬・下時瀬）
消防・警察	足助消防署 旭出張所４分（1.9 ㎞）、浅谷駐在所

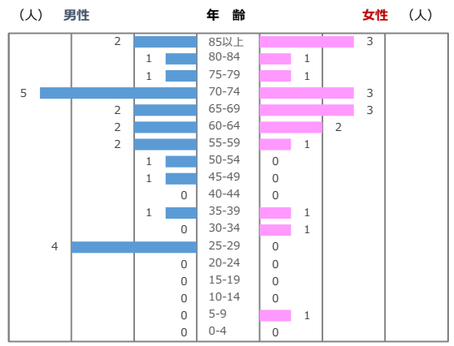
基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		260ha
人口	計	38 人
	男　性	19 人
	女　性	19 人
	0～14 歳	4 人
	15～64 歳（30～64 歳）	11 人（11 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	23 人（14 人）
世　帯　数		19 世帯
平均世帯人員		2.00 人/世帯

人口・世帯数・世帯人員の推移



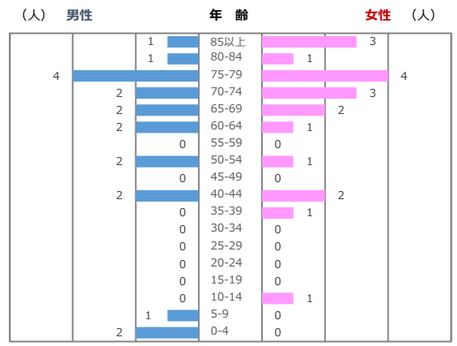
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 60.09 歳　全体 62.31 歳　女性 65.18 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 57.26 歳　全体 61.92 歳　女性 66.58 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

小渡町 集落ビジョン

小渡町の良いところ

・支所や農協、郵便局、コンビニなどの公共施設が多く、便利がいい地域です。
・交通の便がいい地域です。

小渡町のめざす姿

・旭の中心として、商工業を維持していきます。

小渡町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家バンクを活用した地域づくり
・老人クラブの活動（花壇づくり、ゲートボール等）

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・高齢者の地域行事への積極的な参加
・高齢者のまちづくり団体の活動への積極的な参加

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・夢かけ風鈴まつり、小渡天王祭の活性化を図り、自慢のイベントにすることで継続する

小渡町 集落点検カルテ

所属自治区	小渡自治区

地区の概要

●小渡は、旧旭町の中央北部に位置し、明治以来、介木村、旭村、豊田市と合併を重ね、平成 17 年小渡町となる。
●集落東部には、智教院（お不動さん）があり、３月下旬には、大祭が開催され、近郷近在から多くの信者が訪れている。
●青年部が、矢作川の風を活かした夢かけ風鈴、夢渡野公園整備等に取組み、活性化を図っている。

位　置

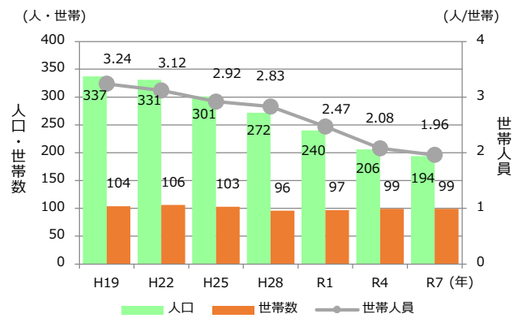
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	豊田市役所旭支所、あいち豊田農協旭支店、旭郵便局、旭商工会、旭観光協会、旭農林会館、森下医院
交通状況	おいでんバス（小渡・小渡大橋・小渡西・間ヶ島・小柳） 地域バス（豊田市役所旭支所・小渡中央広場・小渡大橋・小渡西・間ヶ島・小柳・旭郵便局・農協上・小渡お不動さん前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所６分（2.8 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

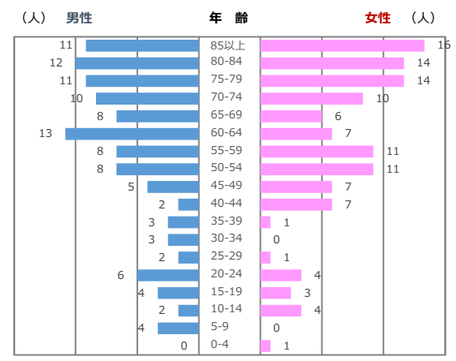
面　積		337ha
人口	計	194 人
	男　性	98 人
	女　性	96 人
	0～14 歳	8 人
	15～64 歳（30～64 歳）	80 人（64 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	106 人（74 人）
世　帯　数		99 世帯
平均世帯人員		1.96 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移

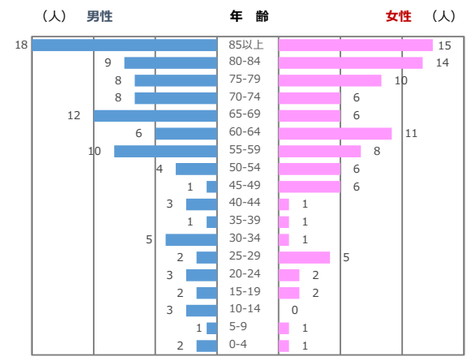


人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



令和７年（10 月１日時点）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

万町町 集落ビジョン

万町町の良いところ

・お互いに声を掛け合い、助け合って暮らせる地域です。
・年２回の環境美化（草刈り）の昼食時に、町外応援者と共に懇談をしています。

万町町のめざす姿

・県道改良工事が、約３～４年で完了することにより、交通量が多く見込めます。万町町の地域の良さを、環境美化を通じてＰＲしていきます。

万町町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
・空き家情報バンクを活用した推進
・健康診断の受診勧奨を通じて、健康寿命の延伸

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
・常日ごろの近所同士の声かけ
・災害時の助け合い

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
・しだれ桃などの花の手入れ

観光・交流

まち、歴史・文化

万町町 集落点検カルテ

所属自治区	小渡自治区

地区の概要

●集落は、旧旭町中央部に位置し、明治以来合併を繰り返し、平成 17 年豊田市との合併により万町町となる。
●集落南部を西に蛇行して流れる介木川沿いと、右岸山地稜線付近の斜面に農地と民家が散在している。
●昭和 47 年から、山地稜線部につながる自動車道が開設されたが、過疎化が進む中、空き家が多くなり、残る住民も高齢化が進んでいる。

位　置

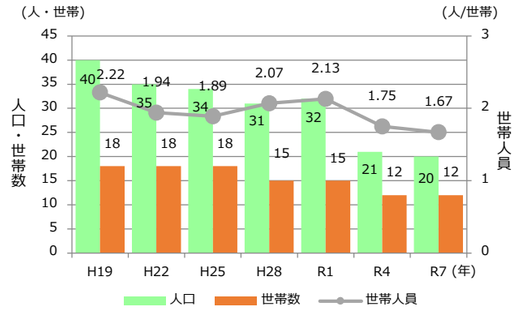
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（万町・万町餅形・万町飛ケ入・万町尺地元・万町本古・万町下根・万町紙屋・万町柿平）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 13 分（6.6 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

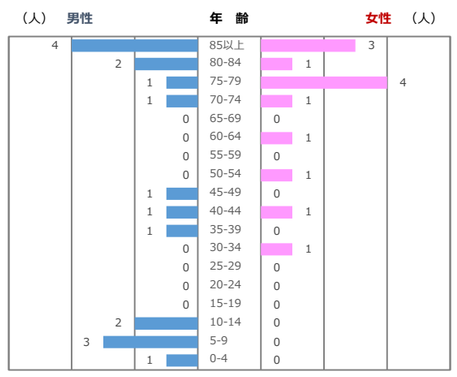
面　積		283ha
人口	計	20 人
	男　性	12 人
	女　性	8 人
	0～14 歳	1 人
	15～64 歳（30～64 歳）	5 人（4 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	14 人（13 人）
世　帯　数		12 世帯
平均世帯人員		1.67 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



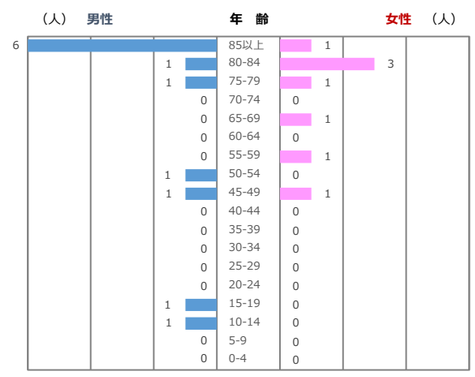
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 49.12 歳　全体 58.77 歳　女性 71.38 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 68.67 歳　全体 70.65 歳　女性 73.63 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

有間町 集落ビジョン

有間町の良いところ

・地域の輪と無理のない活動を行っているところです。

有間町のめざす姿

・安心・安全な地域づくりと高齢化・少子化に伴う活動の見直しを行っていきます。

有間町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

・高齢化・少子化に伴う助け合い

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

・地域住民が安全・安心して生活できる環境づくり

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

・現状維持に努める

観光・交流

まち、歴史・文化

有間町 集落点検カルテ

所属自治区	笹戸自治区

地区の概要

●有間は、旧旭町の西部に位置し、明治以来、野見村、旭村に合併し、平成 17 年豊田市との合併により有間町となる。
●昭和 24 年に現在の小田町が分離され、宇内戸と本郷の２集落から成り立っている。
●集落西部を流れる矢作川に沿って、２箇所に土石流堆積地があり、ここに農地民家が分布している。
●昭和 47 年まで、矢作川対岸の小原村平畑とは、渡船の往来が見られた。

位　置

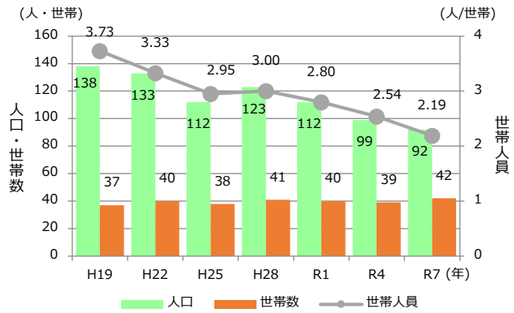
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	中垣酒造㈱（酒醸造）、豊田煉瓦工業㈲
交通状況	おいでんバス・地域バス（宇内戸・平畑口・有間）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 13 分（6.3 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

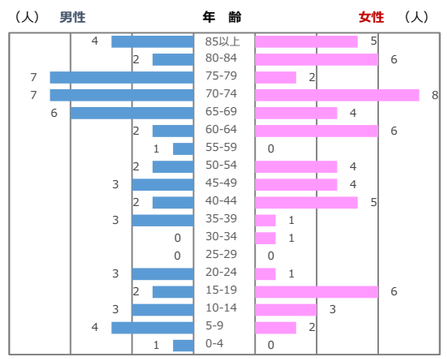
面　積		195ha
人口	計	92 人
	男　性	44 人
	女　性	48 人
	0～14 歳	4 人
	15～64 歳（30～64 歳）	32 人（21 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	56 人（37 人）
世　帯　数		42 世帯
平均世帯人員		2.19 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



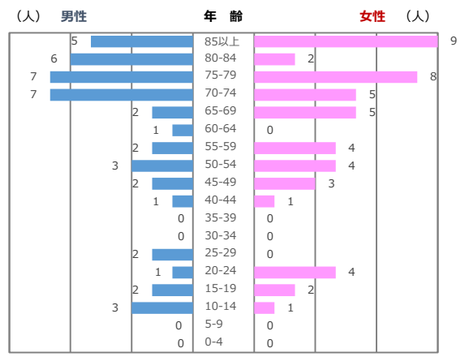
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 52.63 歳　全体 53.67 歳　女性 54.60 歳

令和７年（10 月１日現在）



平均年齢　男性 61.73 歳　全体 62.43 歳　女性 63.08 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

笹戸町 集落ビジョン

笹戸町の良いところ

・町内会行事に積極的に参加していただける方が多く見えます。
・行事などの集まりで、目標を達成するためにどうするか、互いを思いやり考えて協力し合えます。
・一声かけると相談に乗っていただけ、快く手を差し伸べてもらえます。

笹戸町のめざす姿

・町民の高齢者の占める割合が大きくなっているので、他の町内会とも交流を深め、協力して行事に当たっていきます。
・町内の高齢化を防ぐためにも、若い世代の移住者や、故郷に帰りたい方の支援をしていきます。
・若者で農業に興味のある人たちに土地を準備し、土日だけでも人が来てくれる町にしていきます。いろいろな行事にも参加してくれるといいな。

笹戸町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家バンクの積極利用
・交流会を設けて幅広い意見を聞く
・子育て世代の負担軽減。他住民の協力・見守り
・高齢者の普段の利便性向上。出張販売。乗合

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・日頃から挨拶を心掛け、いつでも互いに話し合える関係を保つ
・防災訓練なども活用し、日ごろからハザードマップの確認、防災ラジオのチェック、避難経路の確認を習慣にできるようにする

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・笹戸公園の整備。その他環境整備
・催事の振興、備品づくりの伝承
・農地、コメ作りの継続
・県下最古の笹戸温泉の継続

笹戸町 集落点検カルテ

所属自治区	笹戸自治区

地区の概要

●笹戸は、旧旭町の西部に位置し、明治以来、野見村、旭村と合併し、平成 17 年豊田市との合併により笹戸町となる。
●集落西部を矢作川が流れ、流れ込む大坪川との合流地に形成された平地に、民家と農地が分布している。
●集落には、県下最古の笹戸温泉があり、昭和 40 年笹戸大橋が完成し、温泉観光地として栄えてきたが、過疎化、旅館経営者の高齢化により、旅館、人口も減少している。

位　置

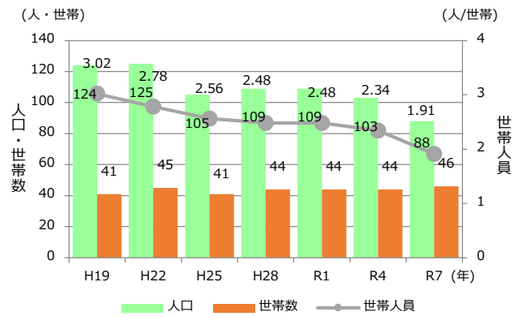
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	笹戸会館、市営住宅、清山荘、㈱K2、笹戸ハウス
交通状況	おいでんバス・地域バス（笹戸）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 16 分（8.1 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

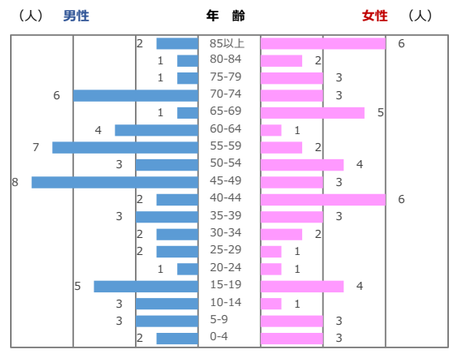
面　積		119ha
人口	計	88 人
	男　性	52 人
	女　性	36 人
	0～14 歳	9 人
	15～64 歳（30～64 歳）	55 人（45 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	24 人（15 人）
世　帯　数		46 世帯
平均世帯人員		1.91 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



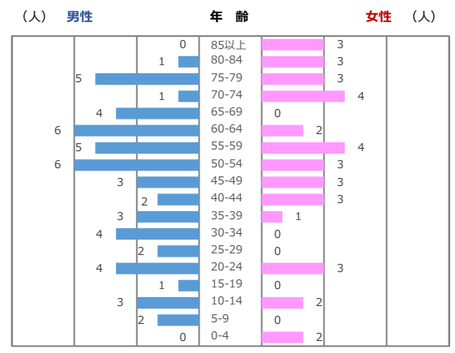
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 44.66 歳　全体 46.68 歳　女性 48.81 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 47.08 歳　全体 49.81 歳　女性 53.75 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

市平町 集落ビジョン

市平町の良いところ

・自然が豊かでのんびり暮らせます。
・皆で力を合わせ、協力しながら行事等を行います。

市平町のめざす姿

・若い世代の移住、定住による活性化を目指します。

市平町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・若い世代が地域に定着し、将来のまちづくりを担う
・子育て環境の充実

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・災害時避難行動訓練の実施
・安心・安全なまち

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・県道、市道の草刈り、整備

市平町 集落点検カルテ

所属自治区	笹戸自治区

地区の概要	位　置
●市平は、旧旭町の西部に位置し、西側を矢作川が流れ、対岸は、旧小原村簗平町である。明治以来、野見村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により市平町となる。 ●矢作川に山が接近しており、川に沿って７戸、山間中腹に２戸が分布している。 ●集落内津島神社には、市指定の天然記念物の、「かごの木」、「七色木」がある。	

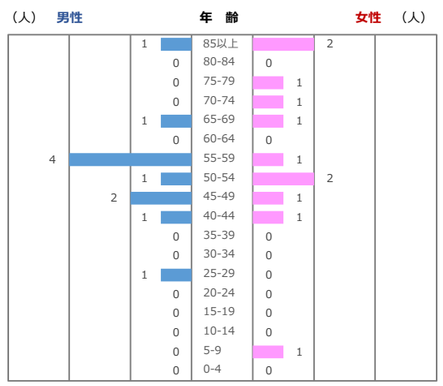
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（市平・市平山中）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 18 分（9.2 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		78ha
人口	計	20 人
	男　性	9 人
	女　性	11 人
	0～14 歳	2 人
	15～64 歳（30～64 歳）	13 人（13 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	5 人（3 人）
世　帯　数		10 世帯
平均世帯人員		2.00 人/世帯

人口・世帯人員の推移

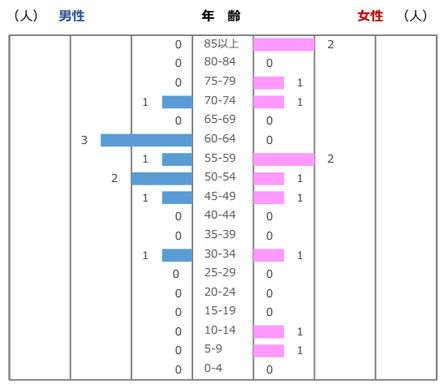
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 54.82 歳　全体 57.32 歳　女性 59.82 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 56.44 歳　全体 55.70 歳　女性 55.09 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

池島町 集落ビジョン

池島町の良いところ

・景観整備が旭地区で最初にされた地域資源（矢作川・桜・もみじ・温泉・福祉センター・育苗センター）の豊かなまちです。
・高齢者の見守り、話しかけ、支え合いも日常生活で行われています。

池島町のめざす姿

・集落の耕作者が協力し、農地の保全に努めます。
・地域の絆を深め、ふるさと池島を未来につなげます。
・災害時には「声かけ」、「早めの避難」を心がけます。

池島町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
・空き家情報の発信

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
・話しかけ、支え合いを今以上に推進
・防災訓練への参加

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
・2026 年のカヌーアジア大会に自治区を通して協力
・お祭りの継承

観光・交流

まち、歴史・文化

池島町 集落点検カルテ

所属自治区	笹戸自治区

地区の概要

●池島は、旧旭町の南西部に位置し、明治以来、野見村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により池島町となる。集落北西部を矢作川が流れ、対岸の川下町（小原地区）と接している。
●平成 5 年の愛知国体で、カヌー競技場を整備し、次年度ワールドカップを開催した。

位　置

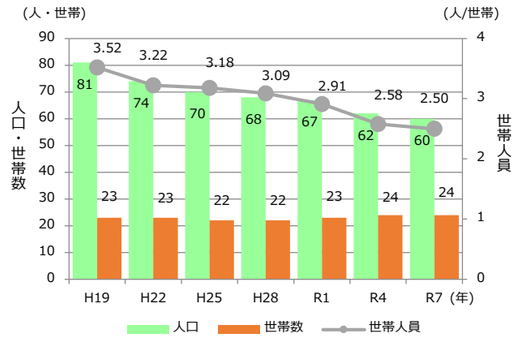
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	ぬくもりの里（社会福祉協議会旭支所）、厨房 168（飲食業）
交通状況	地域バス（池島・池島沢中・ぬくもりの里）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 21 分（10.5 ㎞）、浅谷駐在所

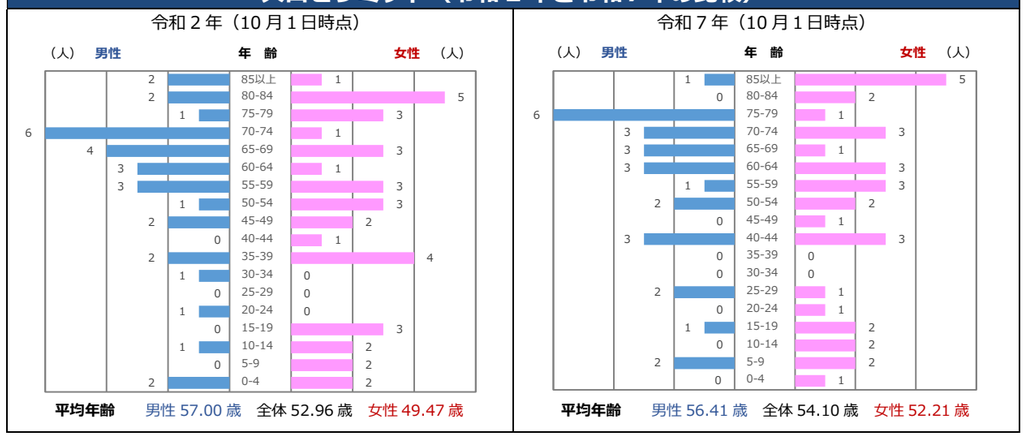
基本データ（令和７年 10 月１日時点）

面　積		231ha
人口	計	60 人
	男　性	27 人
	女　性	33 人
	0～14 歳	7 人
	15～64 歳（30～64 歳）	28 人（21 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	25 人（15 人）
世　帯　数		24 世帯
平均世帯人員		2.50 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

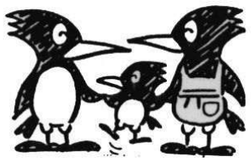
東萩平町 集落ビジョン

東萩平町の良いところ

・過去の風習や伝統にとらわれず、今や未来を大切にしています。
・定住促進が進んだことにより、子どもや親たちの交流が盛んになっています。

東萩平町のめざす姿

・新規参入者の新しい考え方や意見を取り入れながら、時代の流れに見合ったまちづくりを、背伸びせず、楽しみながら、立ち止まらず進めていきます。



東萩平町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家の有効活用と定住活動を着実に進める
・こども達のコミュニティ推進のために、子ども会を復活

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・定期的に公民館などに集まる機会をつくる
・県道笹戸小田木線の改良促進を図る
・危険木や危険箇所の定期的な把握

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・田畑荒廃地への集団草刈などによる環境維持
・交流・関係人口を活かしたまちづくり
・お須原山の整備

東萩平町 集落点検カルテ

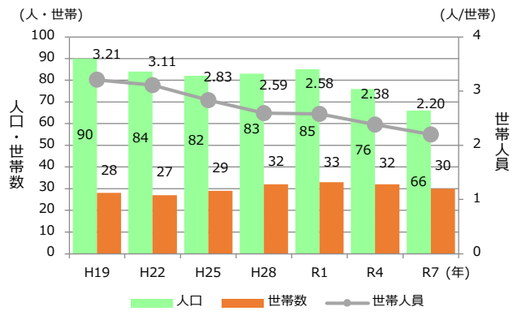
所属自治区	敷島自治区

地区の概要	位　置
●東萩平は、旧旭町の南西部に位置し、明治以来、合併により野見村、旭村を経て、平成 17 年豊田市との合併により東萩平町となる。 ●集落は、比較的広い平地に民家が散在している。 ●集落西部にお須原山があり、御鍬神社が祀られていて、周辺 13 地区により 13 年目毎に祭りが行われている。山頂からは、矢作川を見下ろす景観を利用し、住民や協力企業による環境整備が行われている。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	笹戸カントリークラブ
交通状況	地域バス（東萩平・東萩平大平・東萩平糯田・東萩平入洞）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 20 分（10.2 ㎞）、杉本駐在所

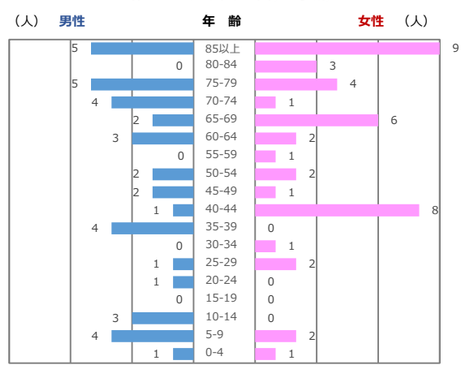
基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		180ha
人口	計	66 人
	男　性	32 人
	女　性	34 人
	0～14 歳	10 人
	15～64 歳（30～64 歳）	27 人（24 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	29 人（18 人）
世　帯　数		30 世帯
平均世帯人員		2.20 人/世帯

人口・世帯人員の推移



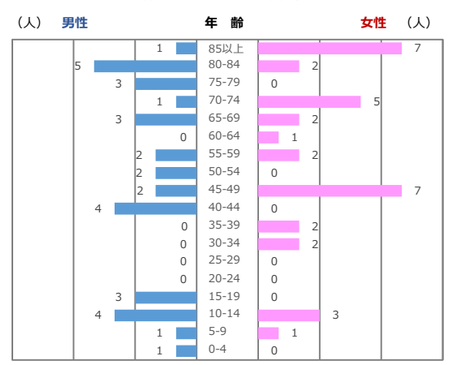
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日）時点）



平均年齢　男性 50.95 歳　全体 56.37 歳　女性 61.16 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 49.56 歳　全体 54.33 歳　女性 58.82 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

大坪町 集落ビジョン

大坪町の良いところ

・皆で助け合うまとまりがあります。
・協働した活動への取り組み意欲が高いです。
・お雛祭り、棒の手など昔からの伝統を引き継いでいます。
・安全で住みやすいまちづくりに取り組んでいます。

大坪町のめざす姿

・高齢者も安心して暮らせるまちづくりをめざします。
・川や農地、山林の保全をめざします。
・田舎らしい風景のまちをめざします。
・永遠の「ふるさと」をめざします。
・困りごとを皆で話し合い、助け合えるまちをめざします。

大坪町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家等の提供に向けた親近者や出身者への呼びかけで、空き家バンクへの登録を推進
・健康づくりウォーキングで、健康寿命の延伸に向けてのサポート

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・黄色いハンカチ運動によるご近所同士の元気確認
・災害時避難行動マニュアルを活用し避難訓練の実施
・緊急時の連絡、支援体制の整備
・保護者や町民による通学路等の定期点検、整備の充実

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・空き地や耕作放棄地を利用した美しい景観づくり
・地域の子どもたちへの棒の手伝承活動の継続と技術の向上

大坪町 集落点検カルテ

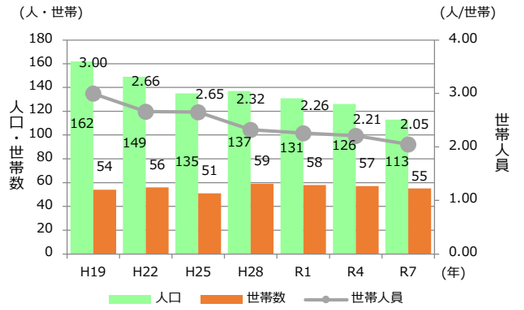
所属自治区	敷島自治区

地区の概要	位　置
●大坪は、旧旭町中央西部に位置し、大坪村と高能村が合併し、その後、野見村、旭村と合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により大坪町となる。 ●旧大坪村の中央を流れる大坪川と、その支流に沿う農地を囲むように民家が散在している。 ●笹戸カントリーは、半世紀にわたり多くの来客者を迎えている。 ●グループホームがある。	

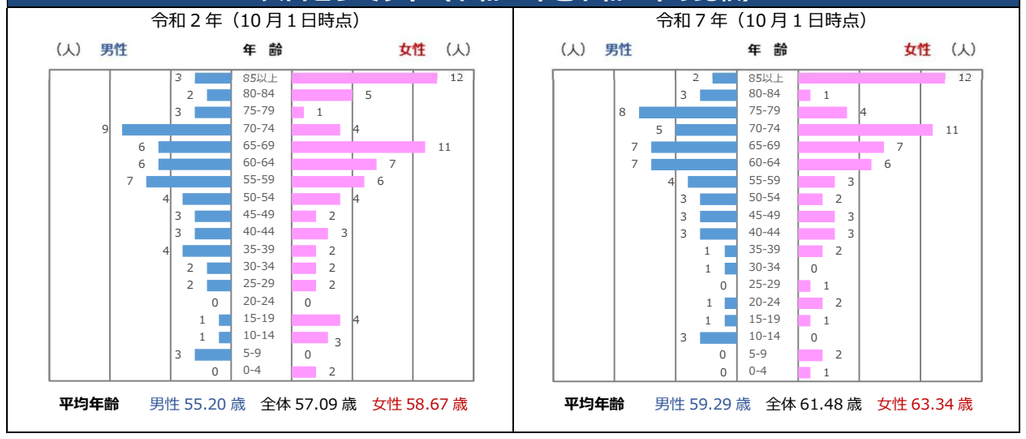
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	笹戸カントリークラブ、グループホーム日和
交通状況	地域バス（高能・大坪・大坪上・大坪井敷・大坪駒）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 18 分（9.0 ㎞）、杉本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		326ha
人口	計	113 人
	男　性	52 人
	女　性	61 人
	0～14 歳	6 人
	15～64 歳（30～64 歳）	47 人（41 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	60 人（30 人）
世　帯　数		55 世帯
平均世帯人員		2.05 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

榊野・万根町 集落ビジョン

榊野・万根町の良いところ

・旭地区の中で現役世代の人口割合が比較的に多い集落です。
・温泉、渓流、山桜などの地域資源が豊富です。
・女性の活動が活発です。
・空き家情報バンク制度を利用した世帯が地域に馴染んできました。

榊野・万根町のめざす姿

・地域資源や文化的資源を生かした景観整備等を進め、地域の魅力を広げます。
・景観整備作業への参加の呼びかけを実施します。
・継続的な植栽や草刈り等を維持します。
・わくわく事業へ参加します。

榊野町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家等の提供に向けた近親者や出身者への協力呼びかけ
・移住定住者の皆さんが地域に馴染んでもらう
・子育て環境の充実
・子どもの安全を地域で支える
・健康教室で生き生きと暮らす

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・暮らしの不安解消
・高齢者の外出促進
・生活環境の整備
・交通事故防止
・防犯対策の促進

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・地域資源を活用した産業の育成
・観光事業の充実
・歴史、伝統文化の継承

榊野・万根町 集落点検カルテ

所属自治区	敷島自治区

地区の概要

●榊野は、月畑、小沢、能見、鳥ノ巣が合併し、榊野村となり、その後野見村、旭村を経て、平成 17 年豊田市との合併で榊野町となる。この合併と同時に、万根町を榊野町に編入した。
●明治には、小学校、郵便局があり、この地域の中心地となっていた。
●集落中央を阿摺川が流れ、これに注ぐ支流が洞々を形成し、川を中心に農地があり、農地を囲んだ山麗斜面に民家が散在している。

位　置

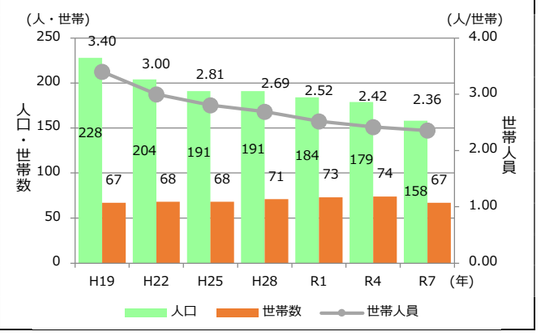
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	㈱榊建設（建設業）、㈲林洋ラン園、てくてく農園
交通状況	おいでんバス（押井口・榊野） 地域バス（鳥ノ巣･押井口･榊野･榊野月畑･榊野平野口･万根･榊野鳥居前・榊野京田）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 17 分（8.7 ㎞）、杉本駐在所

基本データ（令和７年 10 月 1 日時点）

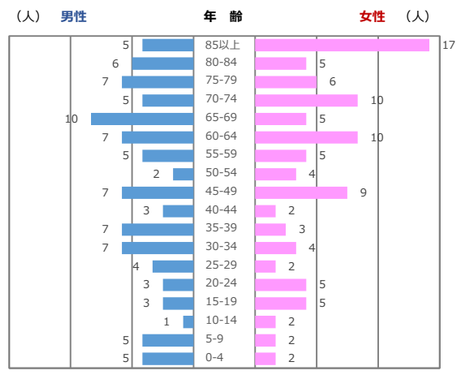
面　積		514ha
人口	計	158 人
	男　性	78 人
	女　性	80 人
	0～14 歳	16 人
	15～64 歳（30～64 歳）	74 人（63 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	68 人（43 人）
世　帯　数		67 世帯
平均世帯人員		2.36 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



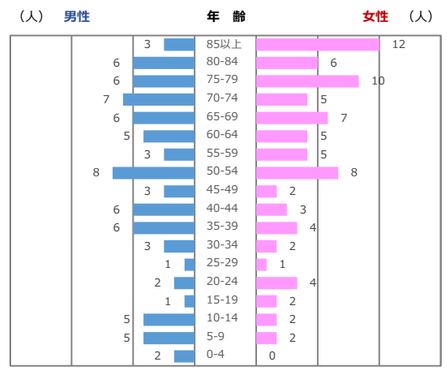
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 49.54 歳　全体 53.44 歳　女性 57.10 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 58.71 歳　全体 62.40 歳　女性 66.52 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

杉本町 集落ビジョン

杉本町の良いところ

・小中学校、こども園等の教育施設、市営住宅（杉本住宅・エビネの里）、敷島会館、しきしまの家、郵便局、駐在所、事業所があり、住環境に恵まれています。
・貞観杉と神明神社などの地域の核となる資源や、棒の手・打ち囃子などの継承により、まちの一体感を高めることができます。

杉本町のめざす姿

・貞観杉や神明神社などの地域資源を活用し、魅力ある地域づくりを進めます。
・祭礼や伝統芸能の継承を通して、まちの一体感やつながりを深めます。
・班ごとの祭礼・伝統行事を守り、コミュニケーションや絆を大切にします。

杉本町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・神社周辺の整備、環境美化、祭礼の継続など、多くの住民が地域活動に参加できるまちづくりへの取組
・市営住宅（杉本住宅・エビネの里）入居希望者増に向けた情報発信及びフォロー体制づくり
・移住希望者への空き家情報、空き地情報の提供

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・高齢者・独居老人への安否確認体制への取組
・防災マップの活用、防災意識の向上・啓発
・防犯灯の見直し、再整備
・門灯点灯活動の推進

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・集落営農事業の取組と担い手育成、利用者支援
・鳥獣害対策の支援制度の活用・取組
・祭礼などに参加しやすい環境を整え、住民や出身者等への参加を呼びかけ
・棒の手・打ち囃子保存会への勧誘、担い手の育成
・町外のイベントでの棒の手・打ち囃子の披露

杉本町 集落点検カルテ

所属自治区	敷島自治区

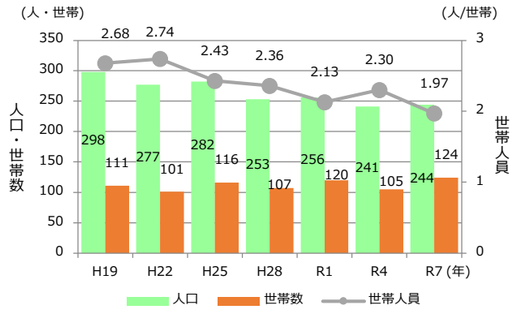
地区の概要	位　置
●白石、九沢、沢尻、源重、大垣内が合併して杉本村となり、その後、野見村、旭村を経て、平成 17 年豊田市との合併により杉本町となる。旭村への合併まで、ここに役場があった。 ●明治の後半には、小学校、郵便局が設置され、敷島地区の中心地であった。 ●集落中央の神明神社境内には、国指定天然記念物「貞観杉」がある。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	敷島会館、旭中学校、敷島小学校、杉本こども園、杉本駐在所、杉本郵便局、市営住宅（杉本住宅・エビネの里）、旭工業㈱（縫製業）、しきしまの家、すぎん工房
交通状況	おいでんバス（白石・杉本） 地域バス（白石・杉本・杉本九沢・杉本稲葉下・杉本境久保・落・旭中学校・敷島小学校・しきしまの家・九沢上・みすぎ前・杉本郵便局前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 13 分（6.7 ㎞）、杉本駐在所

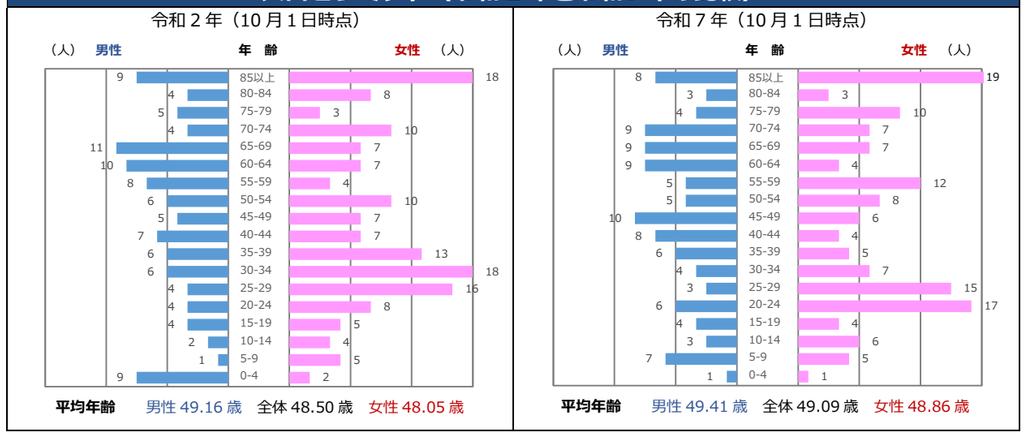
基本データ（令和７年 10 月１日時点）

面　積		337ha
人口	計	244 人
	男　性	104 人
	女　性	140 人
	0～14 歳	23 人
	15～64 歳（30～64 歳）	142 人（93 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	79 人（47 人）
世　帯　数		124 世帯
平均世帯人員		1.97 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

押井町 集落ビジョン

押井町の良いところ

・地域づくりのリーダーや担い手が多く、地域の絆・まとまりがとてもよく、行事も活発に行われています。
・高齢者クラブを始め、各種団体の活動が充実しており、組織力が高いです。
・森林や農地の保全に集落全体で計画的かつ積極的に取り組んでいます。
・棒の手や二井寺普賢院、磨崖仏など歴史ある資源が継承されています。

押井町のめざす姿

・交通安全、防災・防犯と環境美化に努め、安心して暮らせる基盤をつくります。
・次世代や関係人口等との交流を深め、過疎化ストップに挑戦します。
・集落の力をあわせて、農地・森林や歴史・自然を守ります。

押井町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家所有者への町内支援により空き家情報バンクへの登録、入居を図り、集落維持体制の構築を推進
・「押井の里」ホームページを活用して子育て世代の移住、定住を図る
・わくわく事業「歴史と自然豊かな押井づくりの会」を活用して子どもを育てる学びの場を提供

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・ぬくもりの里、しきしまの家等公的機関と連携した高齢者支援、子ども見守り活動の継続
・交通安全幟旗、カーブミラー設置、更新により安全に通行できる道路環境整備。・危険木、支障木伐採
・防犯カメラ、防犯灯の見直し、再整備。災害時の避難行動マニュアルの整備・周知。防災資材の備蓄

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・しきしまの家、自給家族と連携した営農活動の推進
森林ボランティアによる森林環境の整備
・関係人口等交流拠点として普賢院の活用推進
・自宅周辺の良好な環境美化・合併浄化槽設置推進
・サマーフェスタ・天王祭、秋の例大祭等の継承継続
・棒の手保存会への勧誘、子どもへの継承活動の推進

押井町 集落点検カルテ

所属自治区	敷島自治区

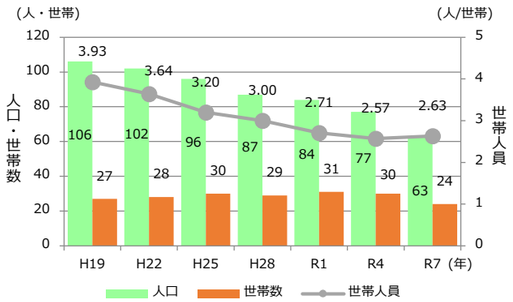
地区の概要	位　置
●旧旭町の中央南部に位置し、押手と二井寺が合併し押井村となる。その後、野見村、旭村と合併を重ね、平成 17 年豊田市に合併し押井町となる。 ●中央を西に小沢川が流れ、川の右岸に農地があり、山麗斜面に民家が散在する。 ●集落では、過疎化により減少している人口に歯止めをかけるため、空き家受け入れ体制の構築を図っている。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	ちんちゃん亭、押井営農組合、hanairo＋、押井公会堂
交通状況	地域バス（押井・押井二井寺・押井神之辻・押井浅之久保・押井宮之前・押井東垣内）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 19 分（9.4 ㎞）、杉本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

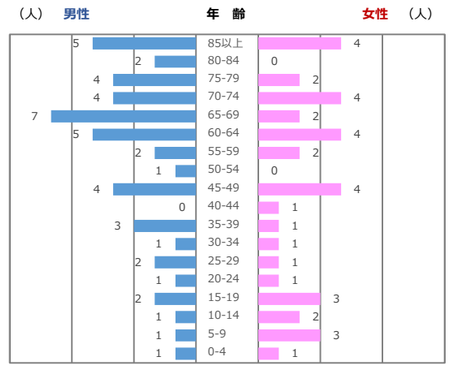
面　積		180ha
人口	計	63 人
	男　性	34 人
	女　性	29 人
	0～14 歳	6 人
	15～64 歳（30～64 歳）	26 人（23 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	31 人（15 人）
世　帯　数		24 世帯
平均世帯人員		2.63 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



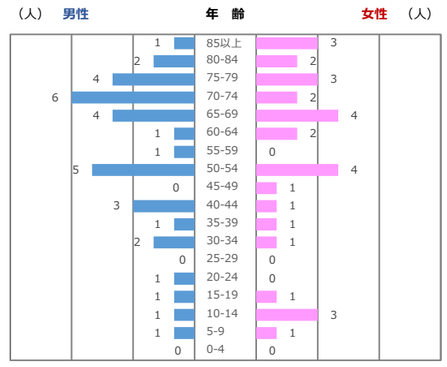
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 57.43 歳　全体 53.73 歳　女性 49.00 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 56.59 歳　全体 56.83 歳　女性 57.10 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

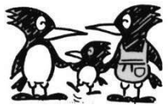
加塩町 集落ビジョン

加塩町の良いところ

・「結い」の心が大事に引き継がれ、行事は集落一体となって行われています。
・農地や森林の保全にしっかり取り組んでいます。
・温泉、名木、打囃子、庚申祭などの特色ある地域資源があります。

加塩町のめざす姿

・「結い」の心で集落がつながり、農地や森林が保全され、文化や伝統が守られている姿をめざします。
・集落の魅力が、在住者と関係する人々に認知され、次代の担い手等と集落支援の輪を広げていきます。
・コロナ禍の学びを糧として、安全・安心で楽しく暮らしやすい集落を形成していきます。



加塩町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・人生１００年時代を意識して、健康寿命を延伸するため、積極的に地域のふれあいの場に参加

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・災害時、全集落員が安全・確実に避難できるよう、自助・共助を念頭に、常日頃からの心構えと支え合いの避難体制を維持・継続

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・効率的な農業経営と良好な農地景観保全のため、集落ぐるみの営農体制の確立
・持続可能な集落であるために、行事や伝統の継承について、集落に合った無理のないやり方で改革
・豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、河川景観の保全作業の継続

加塩町 集落点検カルテ

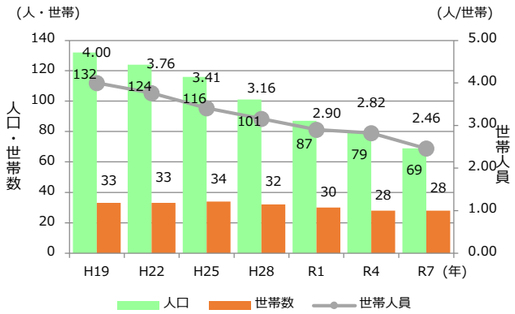
所属自治区	敷島自治区

地区の概要	位　置
●旧旭町南部に位置し、東加塩村であったが、野見村、旭村と合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により加塩町となる。 ●集落中央を加塩川と合流した阿摺川が西に流れ、川に沿った平地に農地が開け、左岸山麗斜面に民家が散在している。 ●集落には、庚申堂があり、初庚申の祭礼には、火傷封じのご利益を求めて多くの信者が参拝している。 ●老人憩の家あさひ荘を指定管理で請け負っている。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	老人憩の家あさひ荘
交通状況	おいでんバス（加塩橋・加塩・あさひ荘前・加塩集会所南） 地域バス（加塩橋・あさひ荘前・加塩集会所）
消防・警察	足助消防署 16 分（8.0 ㎞）、杉本駐在所

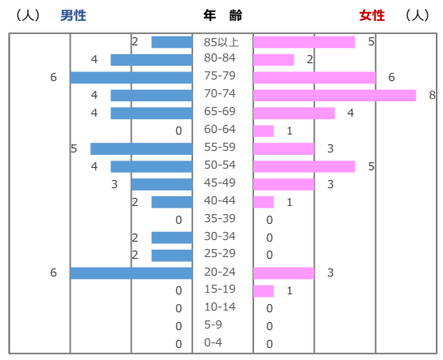
基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		224ha
人口	計	69 人
	男　性	36 人
	女　性	33 人
	0～14 歳	0 人
	15～64 歳 （30～64 歳）	31 人 （28 人）
	65 歳以上 （75 歳以上）	38 人 （32 人）
世　帯　数		28 世帯
平均世帯人員		2.46 人/世帯

人口・世帯人員の推移



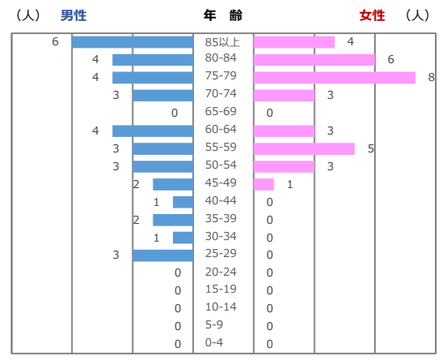
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 56.52 歳　全体 60.26 歳　女性 64.17 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 63.08 歳　全体 67.14 歳　女性 71.58 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

太田町 集落ビジョン

太田町の良いところ

・豊かな自然ときれいな水、田舎の田園風景がきれいです。
・人がいい、優しい、温かい。
・お米がおいしい。自然薯の味も良く、生産量が一番です。
・祭りごとや交流イベントが盛んです。
・田畑や山林を荒らさないように取り組んでいます。

太田町のめざす姿

・太田町を愛する全ての人を温かく迎え入れ、UI ターン者と共に持続可能な暮らしが営まれるまちをめざします。
・のどかな農村風景を財産と考え「しきしま暮らしの作法」を守り、その継続に努めます。

太田町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・イベントや祭りに参加して、出会いや交流を楽しむ
・自主グループが提供する交流事業に対し応援
・子どもや孫に、太田ぐらしの楽しさを伝える
・家や農地の今後について、家族で話し合い
・地域の財産である空き家や農地の有効活用

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・区民館や農村公園でのつながり、ふれあう環境づくり
・しきしまの家と連携した支え合い社会創造活動の推進
・敷島自主防災会活動を通した防災・減災意識の向上及び災害に備えた行動の実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・所有している農地の耕作及び管理
・集落ぐるみで営農の推進を図り、米の販路を開拓
・土地改良事業による水路等の農業施設整備を促進
・制度を活用した共同作業の推進（畦修繕・農道草刈等）
・団地化した森林の間伐を促進

太田町 集落点検カルテ

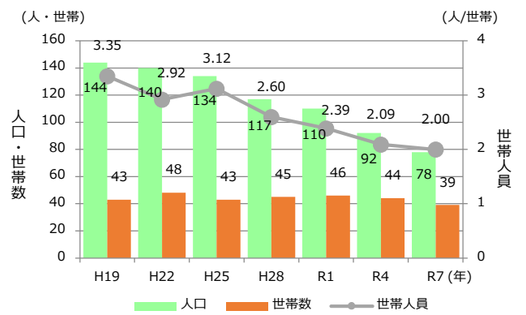
所属自治区	敷島自治区

地区の概要	位　置
●旧旭町のほぼ中央部に位置している。 ●太田川が町のほぼ中央を南北に流れ、大畑川は東へ流れ、共に介木川へ流入している。 ●明治 22 年の介木・生駒組合村への合併後、同 39 年には旭村に合併し、30 年以上村役場が置かれた。また、昭和 7 年 8 月まで太田小学校があった。 ●町内会の有志を中心に、わくわく事業を実施するなど、地域活動に積極的に取り組んでいる。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	㈱M-easy 旭事業所、太田区民館
交通状況	地域バス（太田一升田・太田萩細・太田区民館・太田枝川・福蔵寺前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 18 分（9.0 ㎞）、杉本駐在所

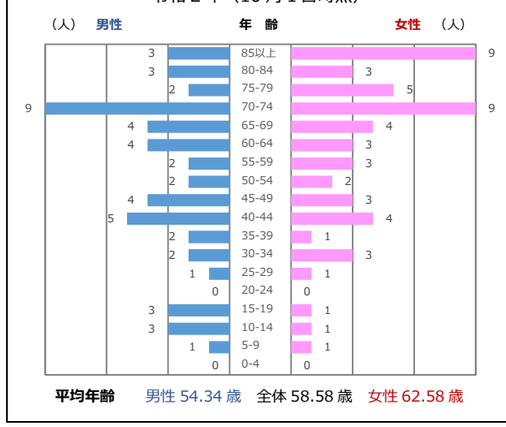
基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		227ha
人口	計	78 人
	男　性	38 人
	女　性	40 人
	0～14 歳	3 人
	15～64 歳（30～64 歳）	32 人（31 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	43 人（29 人）
世　帯　数		39 世帯
平均世帯人員		2.00 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移

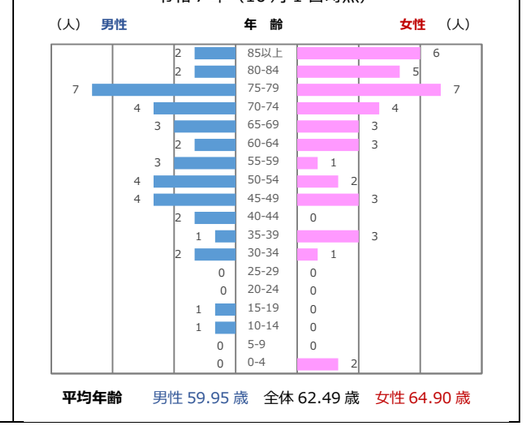


人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



令和７年（10 月１日時点）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

小田町 集落ビジョン

小田町の良いところ

・小集落での常会やふれあいサロン等により絆が深いです。
・親密的で集落での交流ができています。

小田町のめざす姿

・まずはコロナ禍前の集落活動に戻していきたいです。

小田町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・地域でのふれあいサロンの開催

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・ふれあいサロンの開催
・見守りの実施及び声掛けによる確認

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・助け合いによる農地の活用
・常会の活用

小田町 集落点検カルテ

所属自治区	敷島自治区

地区の概要

●旧旭の中央西部に位置し、山地頂上付近の山間に農地があり、これを囲むように民家が散在する。昭和 24 年に有間から分離し、平成 17 年豊田市との合併により小田町となる。
●分離当時 12 戸あった民家も、過疎化により減少し、高齢化も進んでいる。

位　置

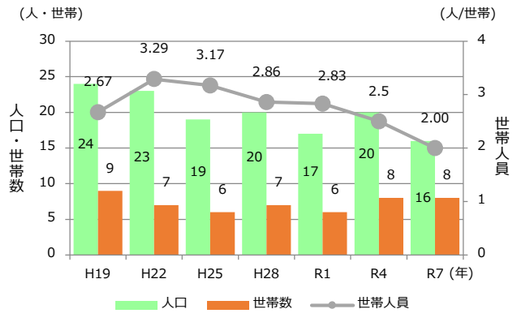
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（小田）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 15 分（7.4 ㎞）、杉本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

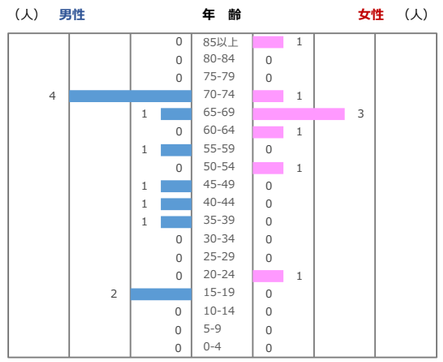
面　積		70ha
人口	計	16 人
	男　性	9 人
	女　性	7 人
	0～14 歳	0 人
	15～64 歳（30～64 歳）	7 人（6 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	9 人（5 人）
世　帯　数		8 世帯
平均世帯人員		2.00 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



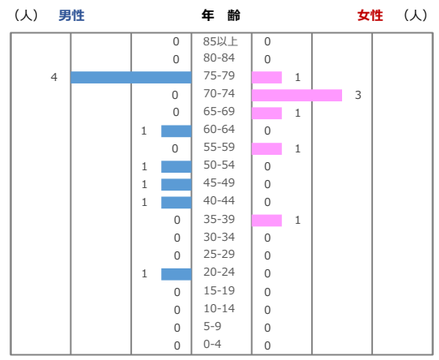
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 52.45 歳　全体 55.89 歳　女性 60.63 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 59.44 歳　全体 61.31 歳　女性 63.71 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

明賀町 集落ビジョン

明賀町の良いところ

・人とのつながりを楽しみ、自然と人を大切にする人々の地域です。
・自然とのふれあいが豊かで安心して暮らせる集落です。
・住民間の相互扶助の精神があります。

明賀町のめざす姿

・健康で元気に暮らし、幸せに長寿生活を送ります。
・相互の助け合いにより、安心で豊かな暮らしをします。
・美しい自然環境を次に譲り、「永住する」まちをめざします。

明賀町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家バンク等への提供（親近者）に心がける
・ふれあいサロンでの「元気アップ教室」による健康づくり

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・ご近所同士の声かけによる元気（安否）確認
・獣、自動車に注意して身を守る
・災害時避難行動マニュアルを活用した防災訓練の実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・道路わきの空き地を利用した花いっぱい運動

明賀町 集落点検カルテ

所属自治区	敷島自治区

地区の概要

●明賀は、旧旭町中央部に位置し、明治以来、介木村、旭村に合併し、平成 17 年豊田市との合併により明賀町となる。
●集落中央で明賀川の流域に沿って形成された平地が二つの長い洞に別れ、この洞の山麗斜面に民家が散在している。
●明賀町は、明治以来小渡自治区との関わりが多く、小渡小学校の学区であったが、平成 9 年敷島小学校の学区となり、敷島地区との交流が始まった。

位　置

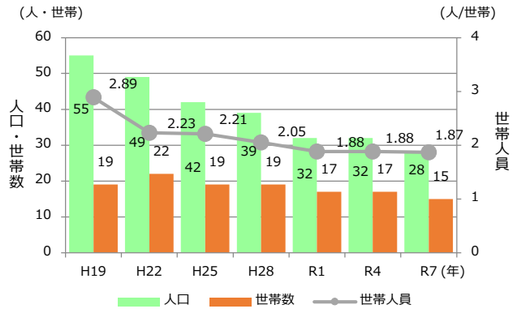
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（下明賀・上明賀・明賀中・明賀堂）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 11 分（5.4 ㎞）、杉本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

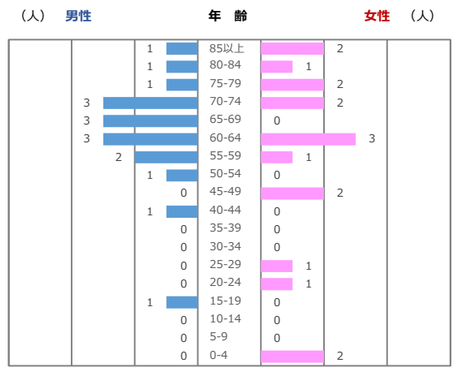
面　積		129ha
人口	計	28 人
	男　性	13 人
	女　性	15 人
	0～14 歳	2 人
	15～64 歳（30～64 歳）	9 人（7 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	17 人（8 人）
世　帯　数		15 世帯
平均世帯人員		1.87 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



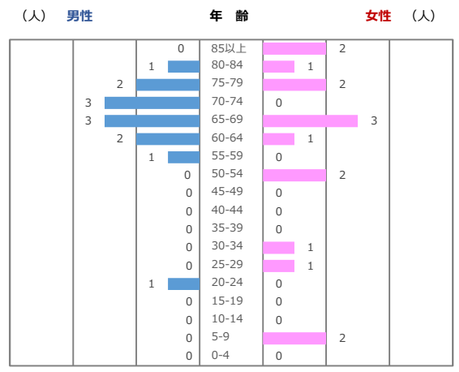
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 64.00 歳　全体 60.06 歳　女性 56.12 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 65.85 歳　全体 61.43 歳　女性 57.60 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

惣田町 集落ビジョン

惣田町の良いところ

・ボランティア（七森会、惣田花樹の会）による花づくり環境美化事業の向上をめざしています。

惣田町のめざす姿

・花のある町づくりと、町内会の子どもを含めた明るい町づくりをめざします。

惣田町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・七森会との和気あいあいとしたまちづくりに力を入れる
・定住者、移住者への交流向上を目指す
・高齢者（老人クラブ）の健康づくりに目を向ける

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・防災訓練への前向きな参入を考える、または実施する
・交通安全の情報収集に力を入れる
・町民の連携向上と立哨活動の実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・わくわく事業を実施し、花樹の会の意識向上を進め、花のあるまちづくりに力を入れる
・しだれ桃、レンギョウ、彼岸花、チューリップ等の植栽、花の手入れ

惣田町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●惣田は、旧旭町南部に位置し、明治以来、築羽村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により惣田町となる。
●集落は、介木川上流の平地から 4 か所に洞が延びており、民家は緩やかな山麗斜面に分布している。
●集落には、津嶋神社所有のイチョウの木（市指定天然記念物）と水田が 30a あり、氏子が協力して耕作している。

位　置

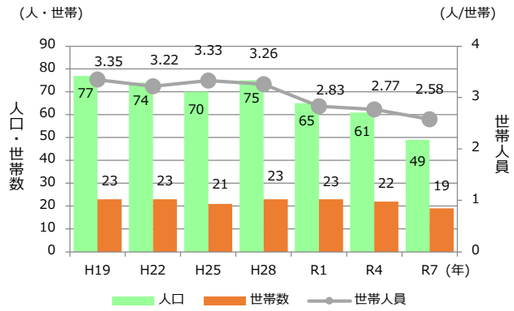
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	旭フラワーセンター ビニールハウス
交通状況	地域バス（惣田・惣田名々瀬）
消防・警察	足助消防署 20 分（10.2 ㎞）、槙本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

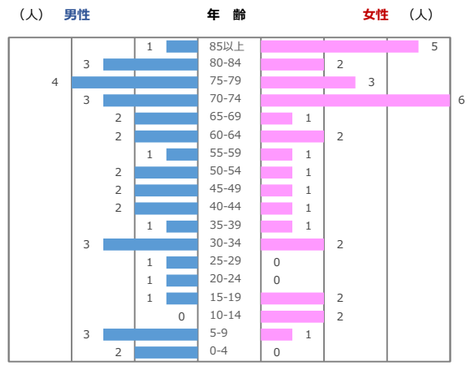
面　積		107ha
人口	計	49 人
	男　性	26 人
	女　性	23 人
	0～14 歳	5 人
	15～64 歳（30～64 歳）	18 人（15 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	26 人（20 人）
世　帯　数		19 世帯
平均世帯人員		2.58 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



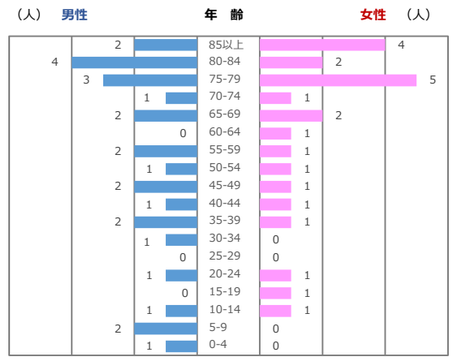
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 49.24 歳　全体 54.31 歳　女性 59.87 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 53.58 歳　全体 58.73 歳　女性 64.57 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

小畑町 集落ビジョン

小畑町の良いところ

・まちづくりに必要な経験者から若者等への縦のつながり、農業未経験者への農作業の助言等の横のつながりもできており、互いに認め合い、支え合えています。
・永続される大祭、法要等の年行事に楽しく無理なく参加できています。
・日時、場所を問わず誰とでも挨拶ができる環境です。

小畑町のめざす姿

・若い世代が地域に定着し高齢者と共存できて、お互いに安心・安全に生活できるまちづくりをめざします。
・集落内の和を大切にして地域の絆を深めます。
・地域の景観を保ち伝統等を理解し、愛着と誇りをもって安心して暮らせる地域づくりを進めます。

小畑町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家移住者への農地情報、町内事業概要等を提供し住民全体の共働をめざす
・ふれあいサロンでの「元気アップ教室」実施による健康づくり

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・近所付き合いを密にして、高齢者への気配りを図る
・ご近所同士の声かけによる元気確認
・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練の実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・鳥獣等による農作物被害防止のため設置された対策施設の維持管理
・農地保全のための補助金等の活用による景観の保持
・空き地や耕作放棄地を利用した花いっぱい運動

小畑町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●小畑は、旧旭町の南東部に位置し、明治以来築羽村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により小畑町となる。
●集落南東部から、小畑川が北西に流れ、介木川に合流する地点にかけて平地があり、その平地及び山麗斜面に民家が散在している。

位　置

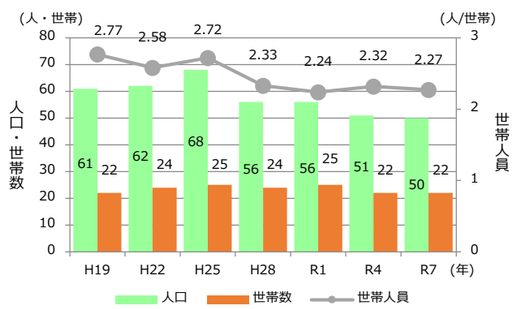
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	いちゃりばちょーでー（飲食業）
交通状況	地域バス（小畑・上小畑・小畑公会堂・いちゃりばちょーでー前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 22 分（11.0 ㎞）、槙本駐在所

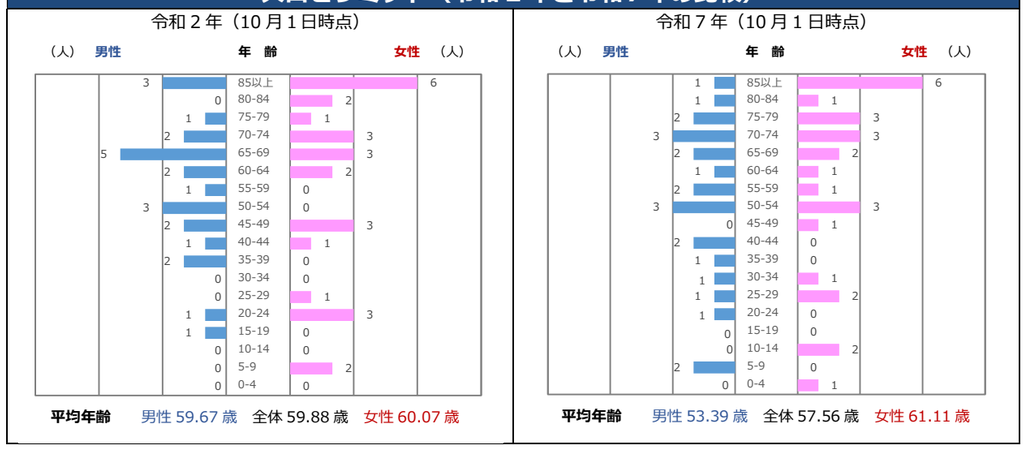
基本データ（令和７年 10 月１日時点）

面　積		128ha
人口	計	50 人
	男　性	23 人
	女　性	27 人
	0～14 歳	5 人
	15～64 歳（30～64 歳）	21 人（17 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	24 人（14 人）
世　帯　数		22 世帯
平均世帯人員		2.27 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

伊熊町 集落ビジョン

伊熊町の良いところ

・伊熊神社の社叢を始めとする豊かな自然環境があります。
・地域ぐるみの農地・森林保全活動に積極的に取り組んでいます。
・元気な高齢者が多いです。
・近所の方と顔の見える関係性があり、伊熊出身者との交流も続いています。
・次世代の子どもが増え人口バランスが良くなっています。

伊熊町のめざす姿

・町内のつながりを大切にしながら、みんな元気で暮らします。
・近隣の町とも協力し若い人が暮らしやすいまちをめざします。
・地域資源を活用し心豊かな暮らしをめざします。
・交流を通して次世代の担い手をつくります。
・遊休農地をなくします。

伊熊町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家等の提供に向けた親近者や出身者への協力呼びかけ
・ふれあいサロンでの「元気アップ教室」実施による健康づくり
・町内行事に参加し健康増進

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・ご近所同士、昼間独居者への声かけによる安否確認
・近場の「あんじゃない」施設の利用
・災害時避難行動ハザードマップを活用した避難訓練の実施
・町外に住む子息との連絡網の確立

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・空き地や耕作放棄地を利用した花いっぱい運動
・山の手入れをし、魅力ある山にする
・子どもが楽しめる（子ども神輿の継続）祭りにする
・歴史の内から伊熊町の魅力を再発見し維持する活動

伊熊町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●昔の上伊熊村と下伊熊村が合併し、現在の集落形態ができ、豊田市との合併により、伊熊町となった。
●築羽地域の南西部に位置し、集落中央部の公会堂を中心に、八手の葉状に農地があり、この農地に沿って民家が建っている。築羽地域では、日下部町と並んで民家が多いが、高齢者世帯が多くなっている。
●集落には、伊熊神社社叢（愛知県自然環境保全地域）があり貴重な植物が自生している。

位　置

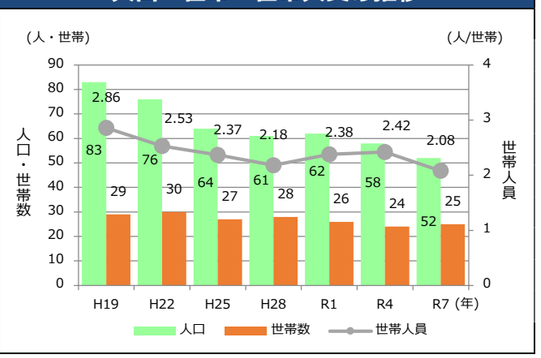
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（伊熊・伊熊西・伊熊南・伊熊町北）
消防・警察	足助消防署 20 分（9.9 ㎞）、槙本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

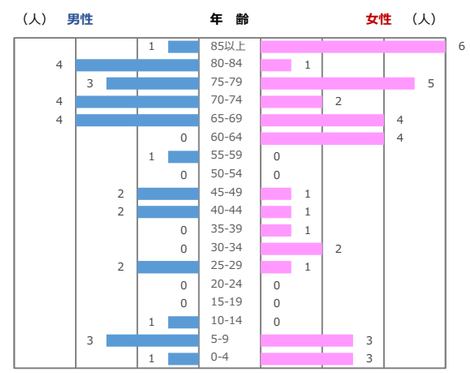
面　積		145ha
人口	計	52 人
	男　性	26 人
	女　性	26 人
	0～14 歳	5 人
	15～64 歳（30～64 歳）	17 人（16 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	30 人（17 人）
世　帯　数		25 世帯
平均世帯人員		2.08 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



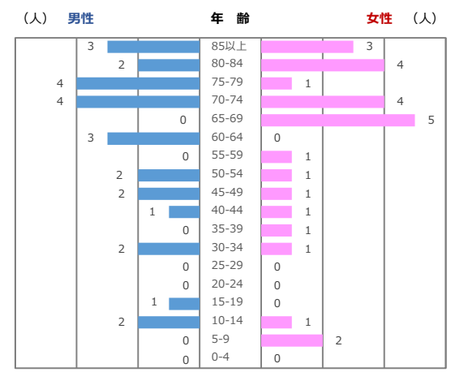
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 54.46 歳　全体 55.44 歳　女性 56.24 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 59.69 歳　全体 60.71 歳　女性 61.73 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

伯母沢町 集落ビジョン

伯母沢町の良いところ

・妙義神社や十一面観音菩薩像などの歴史的文化財の保全に取り組んでいます。
・毎月の常会を開催したり、近所づきあいによる高齢者への声かけを行うなど、家族的な絆があります。

伯母沢町のめざす姿

・集落の宝「歴史ある文化財」を生かした地域交流を続けていきます。
・日ごろの絆を大切に、安心して暮らせる集落づくりを進めます。
・集落みんなで、美しい景観と豊かな自然を守り育てます。

伯母沢町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・町内出身者・親近者等へ、妙義神社例大祭、十一面観音菩薩御開帳の開催など、町内行事等への案内・協力の呼びかけ
・家族や仲間同士でのウォーキング等、健康づくりの推進

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

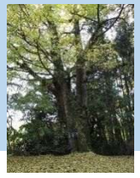
福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・ご近所同士の日常的な声かけと高齢者世帯の見守り
・集落ぐるみでの生活道路の保全活動（草刈り、支障木伐採等）の継続
・防災マップを利用した防災訓練

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・獣害対策の推進、集落営農の検討
・妙義神社や天然記念物（大銀杏、ツガ）等の保全活動の継続
・伯母沢流打ち囃子の継承



伯母沢町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

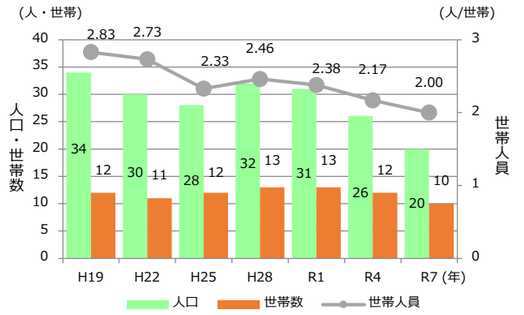
地区の概要	位　置
●伯母沢は、旧旭町の中央部に位置し、明治以来、築羽村、旭村に合併し、平成 17 年豊田市との合併により伯母沢町となる。 ●南部には細長い洞が、八幡からの平地とつながっていて、平地北側の山麗斜面と山を越えた北部の洞に、合わせて 20 戸ほどの民家があったが、過疎化と高齢化により 10 戸に減少している。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（伯母沢・伯母沢口）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 20 分（9.9 ㎞）、槙本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

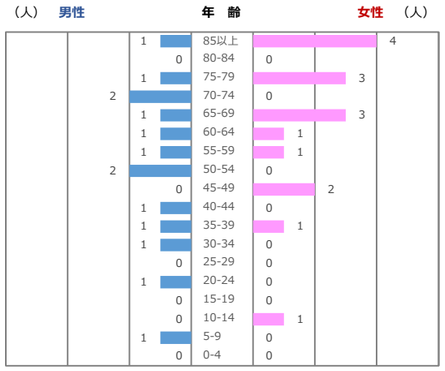
面　積		81ha
人口	計	20 人
	男　性	10 人
	女　性	10 人
	0～14 歳	1 人
	15～64 歳（30～64 歳）	7 人（6 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	12 人（6 人）
世　帯　数		10 世帯
平均世帯人員		2.00 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



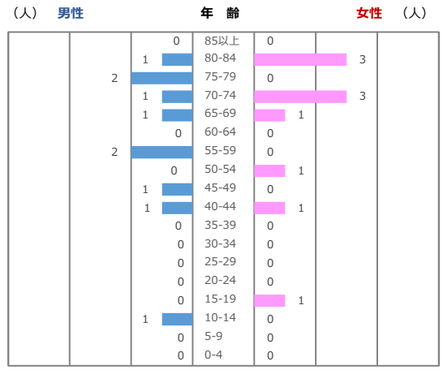
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 52.93 歳　全体 60.00 歳　女性 66.19 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 59.00 歳　全体 61.65 歳　女性 64.30 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

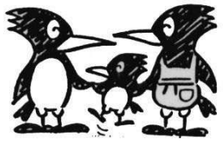
槙本町 集落ビジョン

槙本町の良いところ

・あんじゃない、こらっせるがあります。
・地域に溶け込みやすいです。
・地域の各作業にも出ていただいています。

槙本町のめざす姿

・現状を維持していきます。



槙本町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・こらっせる、あんじゃない
・あんじゃない旧小学校でバーベキュー
・テニス、レクバレー、卓球

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・防災マップやハザードマップによる向上

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・十一面観音があり、７年ごとに供養が行われているため、伝統を守る

槙本町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●槙本は、旧旭町の中央南東部に位置し、明治以来、築羽村、旭村と合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により槙本町となる。
●築羽村当時、役場、小学校があり、この地域の中心地となっていた。明治 40 年には、駐在所も開設された。現在も、築羽地区の中心地として、築羽会館が設置されている。

位　置

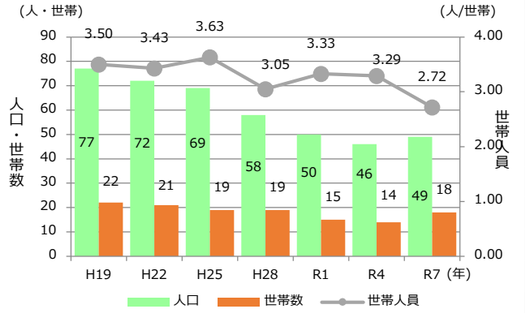
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	築羽会館、つくば工房、槙本駐在所、あんじゃない
交通状況	地域バス（築羽会館）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 19 分（9.7 ㎞）、槙本駐在所

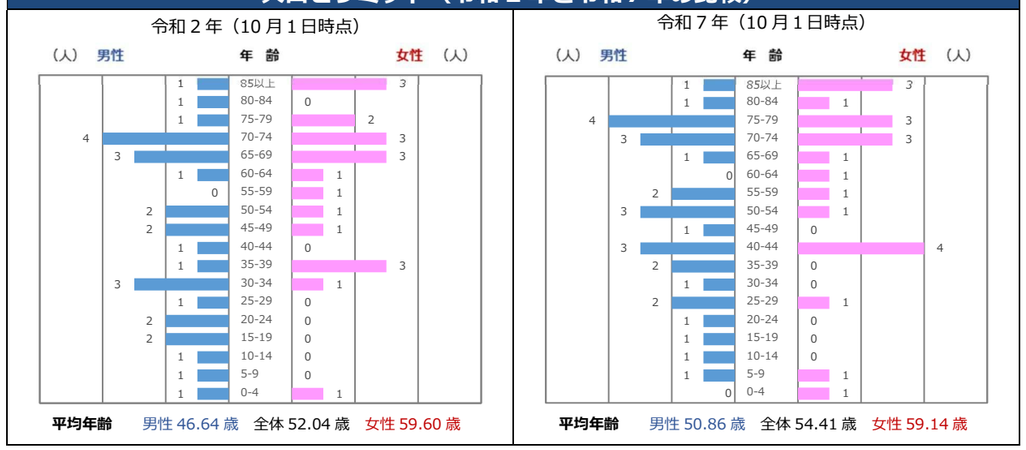
基本データ（令和７年 10 月１日時点）

面　積		57ha
人口	計	49 人
	男　性	28 人
	女　性	21 人
	0～14 歳	4 人
	15～64 歳（30～64 歳）	24 人（19 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	21 人（13 人）
世　帯　数		18 世帯
平均世帯人員		2.72 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

日下部町 集落ビジョン

日下部町の良いところ

・標高 600m前後の高地に位置し、旭地区の中でも、夏は明らかに涼しいです。
・困りごとが起きたときは、町内住民で助け合えるまちです。

日下部町のめざす姿

・日ごろの付き合い（道端での立ち話）から、町内の人のいろいろな状況（健康状態・困りごと）を共有し、協力し、子どもから高齢者まで、元気で、安心して暮らせるまちづくりをめざします。

日下部町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・住民の情報交換の場として、毎月１回の常会開催の継続（連続して欠席された方の状況確認）
・足助病院巡回健診への積極的な参加

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・ご近所同士の声かけによる元気確認（特に R7.3 月の長時間停電時のような事態のとき）
・毎月の上納帳配布時の様子確認
・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練の実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・地域全体での農地保全に努め、できる限りの耕作の継続

日下部町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●日下部は、旧旭町の南東部に位置し、明治以来、築羽村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により日下部町となる。
●集落西部で洞が二つに分断され、民家は各洞の山麗斜面に散在している。
●集落内最光院の梅林を年３回草刈りを実施し、公園の維持管理に努めている。

位　置

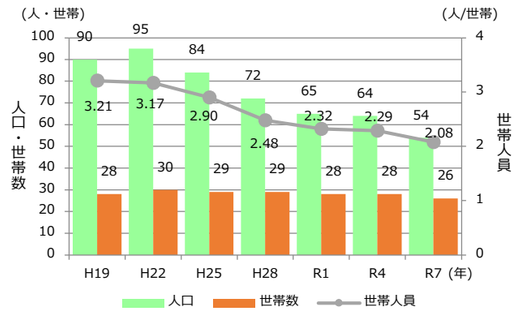
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（日下部・日下部上・日下部蔵ケ入・日下部滑入・日下部薊田）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 20 分（10.2 ㎞）、槙本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

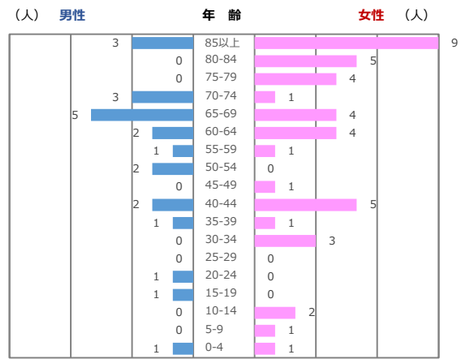
面　積		338ha
人口	計	54 人
	男　性	21 人
	女　性	33 人
	0～14 歳	3 人
	15～64 歳（30～64 歳）	20 人（17 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	31 人（16 人）
世　帯　数		26 世帯
平均世帯人員		2.08 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



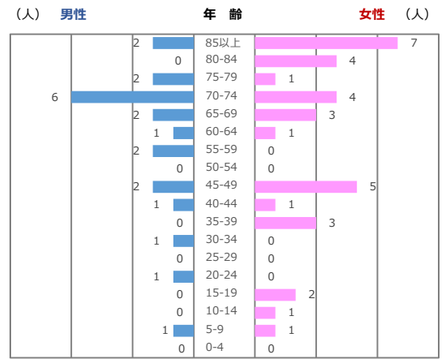
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 57.27 歳　全体 60.44 歳　女性 62.10 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 61.00 歳　全体 61.69 歳　女性 62.12 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

坪崎町 集落ビジョン

坪崎町の良いところ

・自然が壊れておらず、夜空がきれい、水がきれいなど、豊かな自然に触れることができます。
・地生えのしだれ桃の植栽や道路脇の山野草の管理をすることで美しい農村景観が保全されています。

坪崎町のめざす姿

・４戸の小さな集落でもお互い助け合って、楽しく生き生きと暮らしていきます。
・集落内の環境整備、草刈り、片付け等を集落全員で実施していきます。

坪崎町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・高齢者の楽しみやすい場所づくり

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・高齢者の見守り支援
・親密別居者の協力を得て、県道・市道の草刈り、その他の奉仕作業を実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・しだれ桃や山野草の手入れによる景観保全
・集会所や BBQ 広場の管理
・神社仏閣の維持管理

坪崎町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●旧旭町の東部で南東に細長く位置し、他地域から隔絶された集落で、北部にわずかな農地があり、農地周辺に民家が散在する。以前は、８ha ほどあった農地も、過疎化と鳥獣害のため、家庭菜園としてわずかに畑作が行われているのみである。
●集落には、県無形文化財に指定された「火きり神事」の行事が継承されていたが、過疎化と高齢化のため、現在は休止している。

位　置

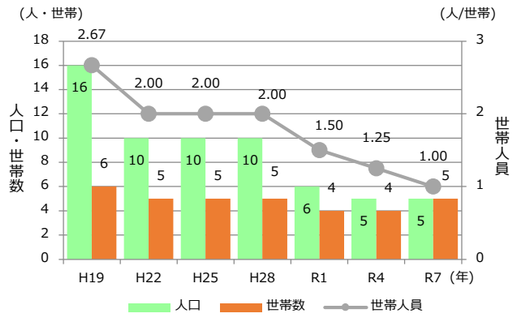
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（坪崎・坪崎神明社口）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 26 分（13.1 ㎞）、槙本駐在所

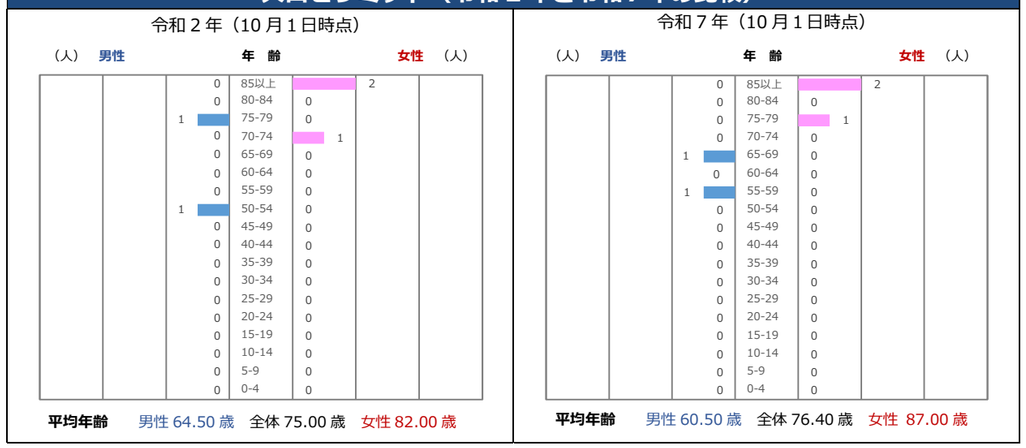
基本データ（令和７年 10 月１日時点）

面　積		311ha
人口	計	５人
	男　性	２人
	女　性	３人
	0～14 歳	０人
	15～64 歳（30～64 歳）	１人（１人）
	65 歳以上（75 歳以上）	４人（３人）
世　帯　数		５世帯
平均世帯人員		1.00 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

旭八幡町 集落ビジョン

旭八幡町の良いところ

・住民みんなが無理せず生き生きと楽しく暮らしていける集落です。
・昔からずっと変わらない農林業を基にした住民の生活は、小さなまちならではのふれあい豊かで安心できる暮らしを続けています。

旭八幡町のめざす姿

・これまでの諸行事を無理せず維持、継続して行っていきたいです。
・住民の健康を大切に「思いやる」ことができ、「心に余裕のある生活」ができるまちをめざしたいです。
・空き家への入居を働きかけていきます。
・貴重な天然資源、八幡神社の無理のない維持をしていきます。

旭八幡町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・空き家等の提供に向けた親近者や出身者への協力呼びかけを行い、住民が増加する方策を推進
・春秋の環境整備、神社祭、その他各行事を通して住民参加のまちづくりを推進

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・ご近所同士の声かけによる元気確認
・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練の実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・中山間地域等直接支払制度等を活用した集落営農の検討、促進
・森づくり会議による山林保全の継続
・ツクバネ、カタクリの自生地の保全・管理
・郷社八幡神社大祭の持続に向けた検討

旭八幡町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●昔の岡村と高蔵村が合併し、八幡村となり現在の集落の形ができた。
●築羽地区を流れる介木川中流域の中央部に位置し、川の両側にある農地を囲むように民家が点在している。
●集落内には、つくラッセル及び八幡神社がある。神社境内には、市指定天然記念物の、サクライソウ、ツクバネが自生している。
●過疎化により人口が減少し、高齢者のみの世帯が多くなっている。

位　置

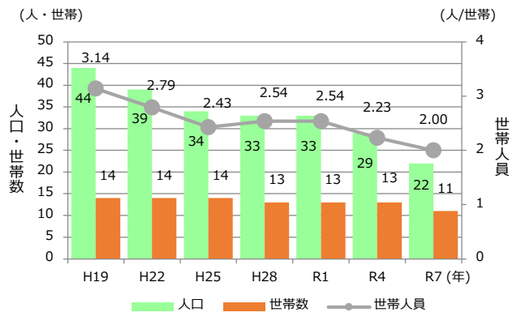
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	旭高原自然活用村、つくラッセル（旧・築羽小学校）、㈲増田建設、農業生産法人あさひフラワーセンター（シンビジウム）、あさひ製材、おいでん・さんそんセンター
交通状況	地域バス（旭八幡・旭八幡沢畑・旭八幡蕨野・旭高原・つくラッセル前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 17 分（8.8 ㎞）、槙本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

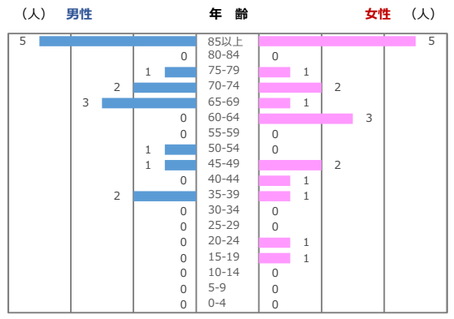
面　積		266ha
人口	計	22 人
	男　性	11 人
	女　性	11 人
	0～14 歳	0 人
	15～64 歳（30～64 歳）	6 人（6 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	16 人（9 人）
世　帯　数		11 世帯
平均世帯人員		2.00 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



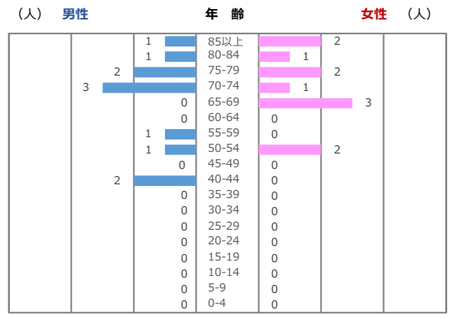
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 69.53 歳　全体 66.30 歳　女性 63.61 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 66.82 歳　全体 70.09 歳　女性 73.36 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

余平町 集落ビジョン

余平町の良いところ

・山々の緑と豊かな自然の中で、川を中心に、心豊かに過ごせるまちです。

余平町のめざす姿

・町内のつながりを自然のままゆっくり住んでいきます。

余平町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

子育て、学び・育ち

健康づくり

・町内住民が声を掛け合って、生活面、防災、健康面の共有を図る

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

・近所との交流を大切に、声をかけ合い助け合う
・見知らぬ人を見たら、注意して近所に知らせる

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

観光・交流

まち、歴史・文化

・美しい田園風景を守り、草刈り、害獣対策に努める

余平町 集落点検カルテ

所属自治区	築羽自治区

地区の概要

●余平は、旧旭町の中央東部寄りに位置し、明治以来、介木村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により余平町となる。
●集落は、介木川の中流に位置し、川の両側の山麗斜面に民家が散在している。
●集落には、他の集落のような組分けの組織がない。

位　置

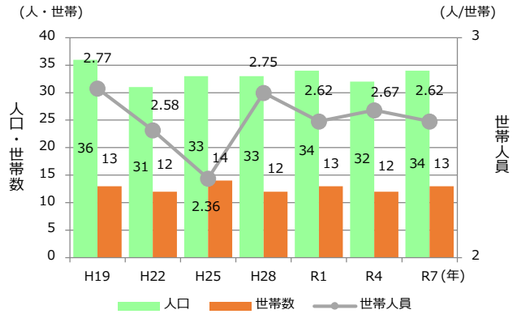
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（余平）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 15 分（7.6 ㎞）、槙本駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

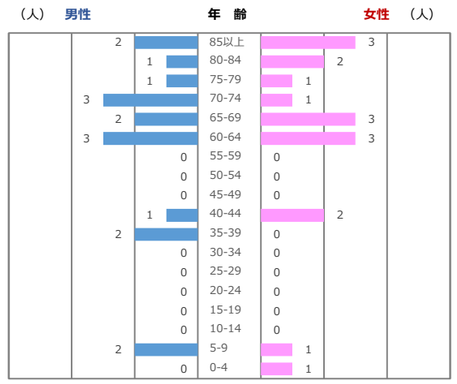
面　積		155ha
人口	計	34 人
	男　性	16 人
	女　性	18 人
	0～14 歳	4 人
	15～64 歳（30～64 歳）	7 人（7 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	23 人（12 人）
世　帯　数		13 世帯
平均世帯人員		2.62 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移

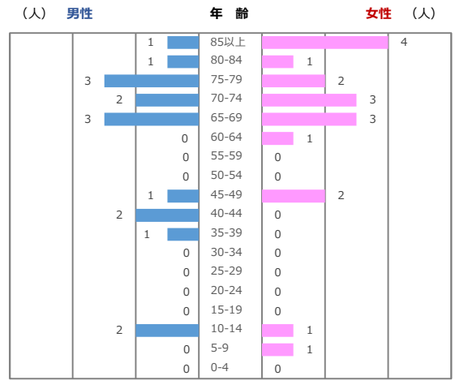


人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



令和７年（10 月１日時点）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

島崎町 集落ビジョン

島崎町の良いところ

・矢作川に面し南側に開けた比較的日当たりの良い土地で、新規の定住者、移住者に対する理解もあり、平穏で暮らしやすい町内です。
・島崎公園内の周回道路には、町民がウォーキング、ジョギングをしている姿が見られ健康的な地域です。

島崎町のめざす姿

・島崎公園の活用。ドクターヘリ、防災ヘリのランデブーポイントとして、地域全体の防災・医療に活用できれば良いと思っています。また、町内のイベントに使用していきます。

島崎町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・定住支援策の活用（空き家バンクなど）
・島崎公園の活用（テニスコートの充実、ウォーキング・ジョギングによる健康づくり）

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・地域の見守り活動
・県道島崎豊田線の崩落防止の改良促進

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

島崎町 集落点検カルテ

所属自治区	浅野自治区

地区の概要

●島崎は、旧旭町の中央北西部に位置し、野原村（三濃村）下切の一部であったが、村役場からの通達が頻繁となり、昭和 30 年旭村に合併した際、大字島崎となり、平成 17 年豊田市への合併により島崎町となる。現在でも下切町とは、密接な関係にあり、公民館も共同利用している。下切町に農地を持つ農家があり、用水にも加入している。
●矢作川が集落の南部を流れ、急な山のふもとに民家が 3 箇所に分れて分布しているが、和合地区には空き家が多い。

位　置

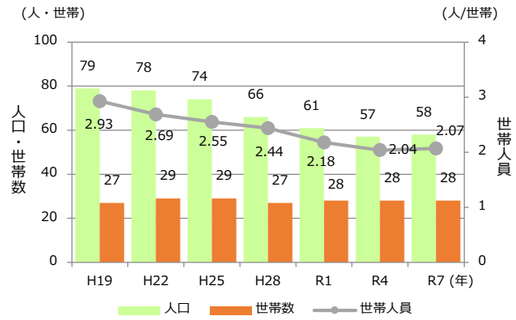
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	安藤工務㈱（建設業）、㈲シバ興業（建設業）
交通状況	地域バス（島崎口・島崎・島崎町石原）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 6 分（3.1 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

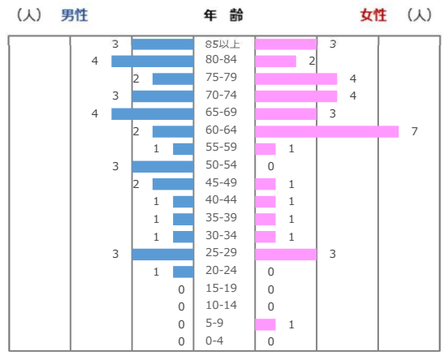
面　積		69ha
人口	計	58 人
	男　性	28 人
	女　性	30 人
	0～14 歳	3 人
	15～64 歳（30～64 歳）	22 人（20 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	33 人（19 人）
世　帯　数		28 世帯
平均世帯人員		2.07 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



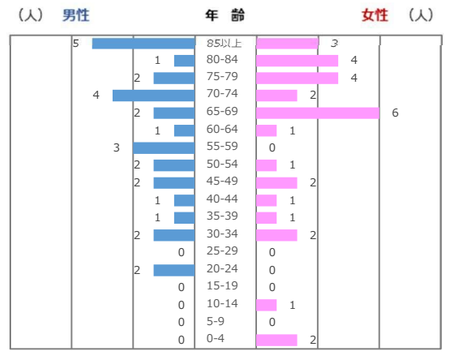
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 60.32 歳　全体 60.92 歳　女性 61.50 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 62.04 歳　全体 61.52 歳　女性 61.03 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

下切町 集落ビジョン

下切町の良いところ

・主要地方道豊田明智線沿いの静かな山間の地域です。近くには矢作川が流れる、山間ならではの緑が多い地域です。
・四季折々に変化する景観を堪能でき、マスコミにも取り上げられるお米「ミネアサヒ」を栽培しています。

下切町のめざす姿

・高齢者が安心して暮らし、生活ができる地域づくりをめざします。
・都会暮らしの旧住民がＵターンできるまちづくりをしたいと思います。

下切町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・ふれあいサロンの開設
・地域農作物の販売所でのふれあい
・地域の方々の健康確認及び情報交換

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・災害安否確認用情報カードの更新
・民生委員、町内会のひとり暮らしの家庭に声掛け等を行う

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・青空市場を利用する町内外の方とのふれあい
・農作物の販売、花木栽培を行い明るい販売所をめざす

下切町 集落点検カルテ

所属自治区	浅野自治区

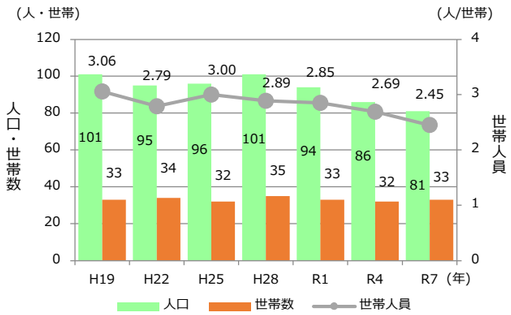
地区の概要	位　置
●下切は、旧旭町の中央北部に位置し、南部を矢作川が流れ、土石流堆積の平地に農地があり、山麗斜面に民家が分布している。 ●野原村下切であったが、三濃村、旭村と合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により下切町となる。 ●明智と足助を結ぶ街道がとおっていて、矢作川を小渡に渡る渡し舟があったが、大正８年につり橋ができ廃止された。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	小渡小学校、小渡こども園、旭総合体育館、松栄軒、百才笑（飲食業）
交通状況	地域バス（下切・野田久保・旭総合体育館）
消防・警察	足助消防署 旭出張所４分（2.0 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

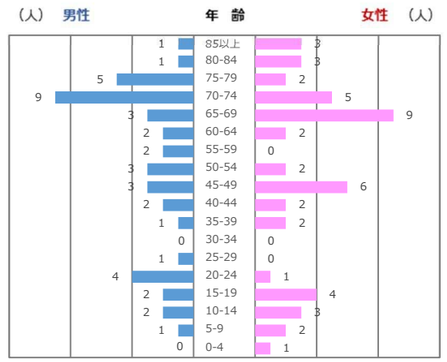
面　積		73ha
人口	計	81 人
	男　性	39 人
	女　性	42 人
	0～14 歳	3 人
	15～64 歳（30～64 歳）	38 人（24 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	40 人（24 人）
世　帯　数		33 世帯
平均世帯人員		2.45 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



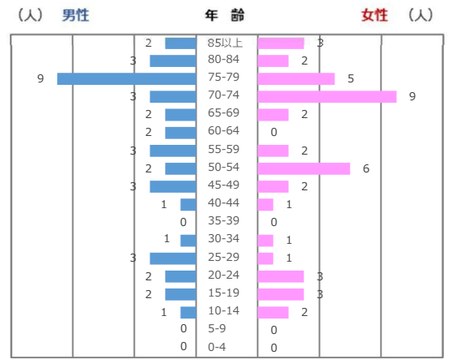
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 53.62 歳　全体 52.69 歳　女性 51.85 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 57.95 歳　全体 57.01 歳　女性 56.14 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

下中町 集落ビジョン

下中町の良いところ

・隣近所の高齢者への声かけなど、横のつながりを大切にしています。
・集会所、庚申閣が同一敷地内にあり、住民が集う場所があります。
・集落内にしだれ桃が多く植栽されています。

下中町のめざす姿

・集会所、庚申閣への導線を整備し歩きやすい環境を作ります。
・毎月第２日曜日に集会所の清掃を行い、人が集まることで横のつながり、安否を確認できるようにします。

下中町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
・みんなが気軽に集まり、楽しめる環境づくり

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
・ご近所同士の声かけによる安否の確認
・困りごとを住民相互に助け合える関係づくり

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
・しだれ桃群落の草刈り、施肥などの維持管理
・耕作放棄地などを住民で草刈りを行い、景観を維持

観光・交流

まち、歴史・文化

下中町 集落点検カルテ

所属自治区	浅野自治区

地区の概要

●昔は、岐阜県の野原村下中切であったが、明治の三濃村への合併、昭和９年に上中切の一部字久々里木にあった民家３戸を下中切に編入、昭和 30 年の旭村への合併を経て、豊田市への合併により下中町となる。
●旧旭町の北西部の山腹に農地を開墾し、洞々に民家が散在しているが、高齢世帯が増加している。
●集落には、三光山庚申閣があり、火傷封じ・失せもの祈願で信仰深く毎年初庚申には、近郷から多くのお参りがあった。

位　置

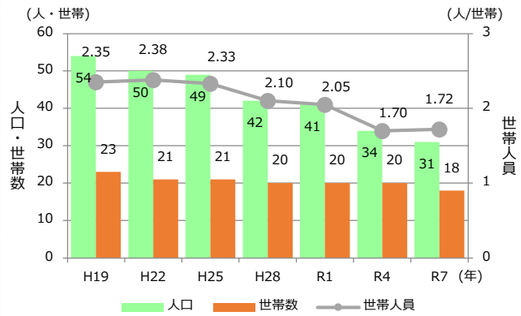
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（下中・下中上・下中真坂・下中久々里木・下中中）
消防・警察	足助消防署 旭出張所６分（2.8 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

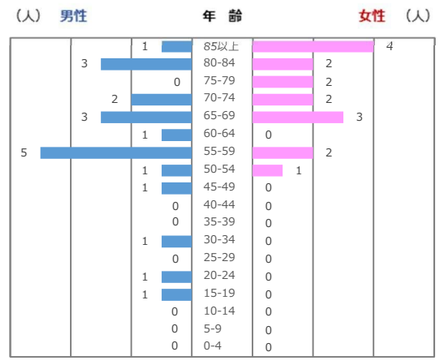
面　積		125ha
人口	計	31 人
	男　性	15 人
	女　性	16 人
	0～14 歳	1 人
	15～64 歳（30～64 歳）	14 人（13 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	16 人（13 人）
世　帯　数		18 世帯
平均世帯人員		1.72 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



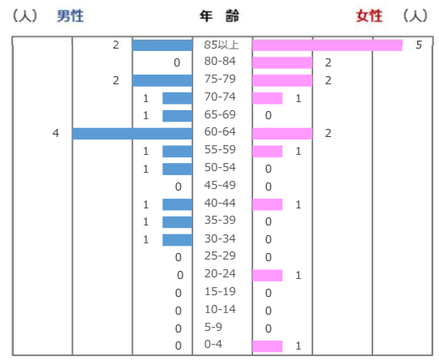
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 60.25 歳　全体 66.11 歳　女性 73.44 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 62.80 歳　全体 65.13 歳　女性 67.31 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

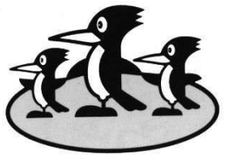
上中町 集落ビジョン

上中町の良いところ

・地域や組織にしばられないで生活しています。

上中町のめざす姿

・住民の負担にならない町内会活動を目指します。



上中町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

子育て、学び・育ち

健康づくり

・小学生の方が２人いる家族が移住してきた。
暮らしやすい集落にしていきたい

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

・残土の運搬によるダンプカーの走行があるので、交通安全に気を配る

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

観光・交流

まち、歴史・文化

・夏と秋の県道、市道の草刈りが継続していけるように、工夫をしていきたい

上中町 集落点検カルテ

所属自治区	浅野自治区

地区の概要	位　置
●昔は、岐阜県の野原村上中切であったが、昭和 30 年の旭村への合併、平成 17 年の豊田市への合併により上中町となる。昭和 9 年下中切に隣接する字久々里木にある民家３戸が、下中切に合併した。 ●集落は、旧旭町の北西部の山頂に近い洞に民家が散在し、老朽化した空き家が目立つ。 ●40 年ほど前から各戸が趣味で植えていたしだれ桃が見頃をむかえ、小桃源郷となり観光スポットになっている。	

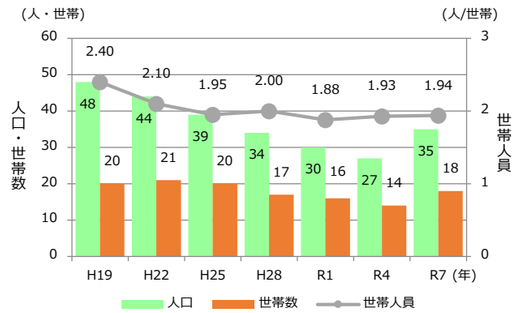
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（上中秀沢・上中辻・上中花ノ木・上中菅ノ沢・上中西羽根・上中井の口、上中大羽根、上中町上中）
消防・警察	足助消防署 旭出張所８分（4.2 ㎞）、浅谷駐在所

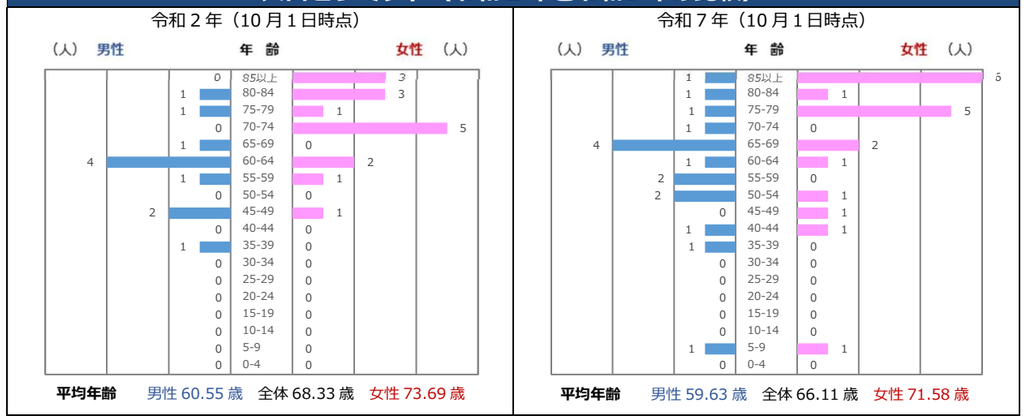
基本データ（令和７年 10 月１日時点）

面　積		114ha
人口	計	35 人
	男　性	16 人
	女　性	19 人
	0～14 歳	2 人
	15～64 歳（30～64 歳）	11 人（11 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	22 人（15 人）
世　帯　数		18 世帯
平均世帯人員		1.94 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

上切町 集落ビジョン

上切町の良いところ

・高齢者が安心して暮らせるまちづくりをしています。
・秋祭りの伝承に取り組んでいます。
・耕作放棄地の拡大を防止しています。
・あさひ緊急時連絡先情報カードを活用しています。

上切町のめざす姿

・健康で元気に暮らせるまちづくり。
・安全で安心して暮らせるまちづくり。
・秋祭りの充実と伝承。
・耕作放棄地、空き家周辺等の環境整備。

上切町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・ふれあいサロンを実施することで高齢者の健康維持
・サロン参加者の拡大、呼びかけ

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・一人暮らしの家庭に対して安否確認札の作成
・災害時避難行動マニュアルを活用した訓練実施、特に命を守る訓練を考えて実施

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・耕作放棄地の拡大を防止、整備し、景観を良くする

上切町 集落点検カルテ

所属自治区	浅野自治区

地区の概要	位　置
●旧旭町の北西部に位置し、野原村上切であったが、三濃村、旭村、平成 17 年には豊田市との合併を重ね上切町となる。 ●集落には、白山神社があり、かつては小原村の一部を含んだ近郷の中心的な地であった。 ●明治以来、浅谷の小学校を本校とする上切分校があり、昭和 42 年の廃校まで続いた。 ●白山神社裏山の尾根を取り囲むように農地と民家が散在している。	

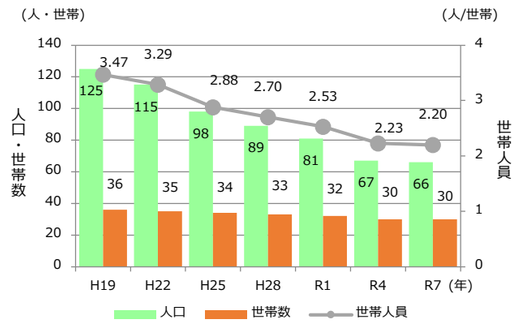
地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（上切辻・上切白山神社・上切石畑辻・上切大平岩・上切田久谷・上切大平峯）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 10 分（5.2 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）

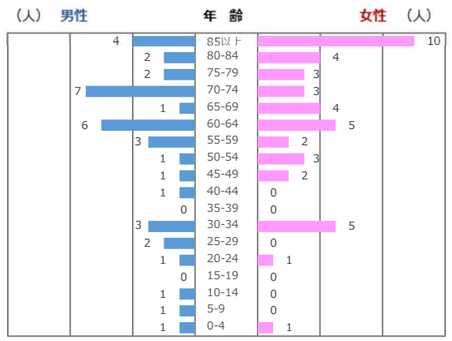
面　積		279ha
人口	計	66 人
	男　性	32 人
	女　性	34 人
	0～14 歳	2 人
	15～64 歳（30～64 歳）	26 人（24 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	38 人（26 人）
世　帯　数		30 世帯
平均世帯人員		2.20 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



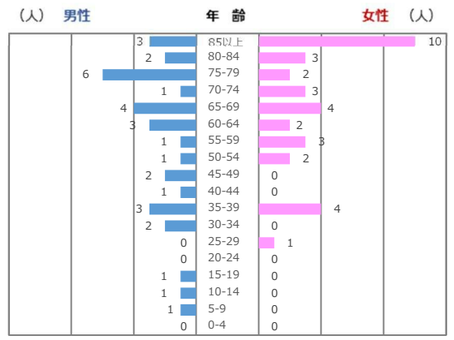
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 57.54 歳　全体 61.88 歳　女性 65.60 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 58.94 歳　全体 64.67 歳　女性 70.06 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

一色町 集落ビジョン

一色町の良いところ

・合同で彼岸法要を実施しています。
・桜並木が見物です。

一色町のめざす姿

・現状を維持していきます。

一色町のおもな取組

重点取組項目１　**気持ちが通い合う住民参加のまちづくり**

移住・定住

・彼岸法要や奉仕作業などへの住民参加、協力

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目２　**安全に安心して暮らし続けられるまちづくり**

福祉

・独居老人、弱者に声掛けをしていく

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目３　**美しさと魅力あふれるまちづくり**

産業（農林業・商業）

・農地、空き地の環境美化を現状維持する

観光・交流

まち、歴史・文化

一色町 集落点検カルテ

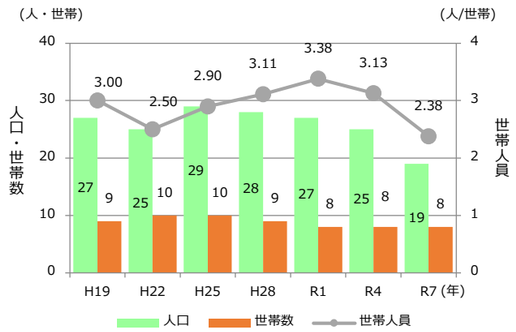
所属自治区	浅野自治区

地区の概要	位　置
●一色は、旧旭町の北端に位置し、明治以来、野原村、三濃村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により一色町となる。 ●洞々の平地及び山麗斜面を利用して農地があり周囲に民家が散在している。 ●住民の全てが伊藤姓で、昭和 30 年代には 17 戸あった戸数も過疎化により現在 8 戸に減少している。	

地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	名峰鉱業㈱（陶土採掘）
交通状況	地域バス（一色）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 7 分（3.5 ㎞）、浅谷駐在所

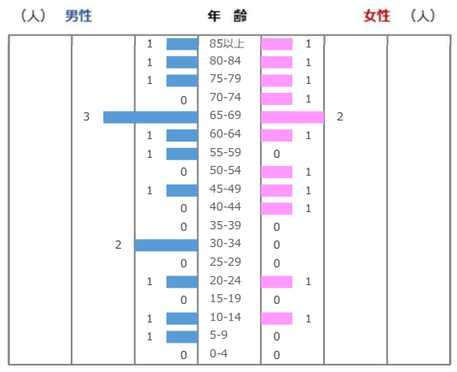
基本データ（令和７年 10 月 1 日時点）		
面　積		136ha
人口	計	19 人
	男　性	11 人
	女　性	8 人
	0～14 歳	0 人
	15～64 歳 （30～64 歳）	6 人 （5 人）
	65 歳以上 （75 歳以上）	13 人 （6 人）
世　帯　数		8 世帯
平均世帯人員		2.38 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



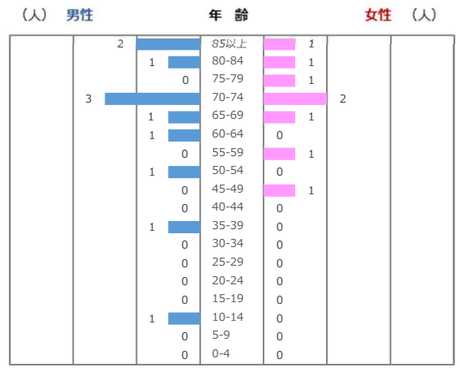
人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）

令和２年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 51.14 歳　全体 54.04 歳　女性 57.42 歳

令和７年（10 月１日時点）



平均年齢　男性 64.18 歳　全体 66.63 歳　女性 70.00 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

浅谷町 集落ビジョン

浅谷町の良いところ

・集落は、中央に里山「丸山」があり、南向きで陽当たりがよく家屋が連担しています。
・八王子神社、妙見寺、丸山山頂の金毘羅さんと秋葉さん、弘法さん、行者さん等々、神社・仏閣及び石仏等も多く、信仰心が厚い地域です。
・家門ごとに氏神を祭る習俗が残り、本家分家のつながりが保たれています。

浅谷町のめざす姿

・丸山と周辺荒廃地を整備し、憩いの場及び都市住民との交流の場にします。
・高齢者始め誰もが生きがいを持ち、安心して暮らせるまちづくりをします。
・子育て世代に魅力あるまちにします。
・町民一人一人が主役になれる地域活動に取り組みます。

浅谷町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・管理放棄状態の空き家ゼロをめざす
・住民の循環をめざす
・地域の子どもたちとの交流、つながりを深める
・「スモモの会」「浅野会」「熟年会」参加による健康づくり
・「歩け歩け運動」の推進

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・地域ぐるみの見守り活動
・県道、市道、生活道路の整備
・地域バスの定期運行の充実
・防災意識の高揚
・通過交通車両に対する交通安全対策

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・農地の保全管理の推進
・「ふれあい市場」の取組に対するサポート強化
・「赤蕎麦の里・浅谷」の取組を展開
・しだれ桃街道、花いっぱい運動の推進
・神社等の歴史施設の整備、打ち囃子の伝承活動を継続

浅谷町 集落点検カルテ

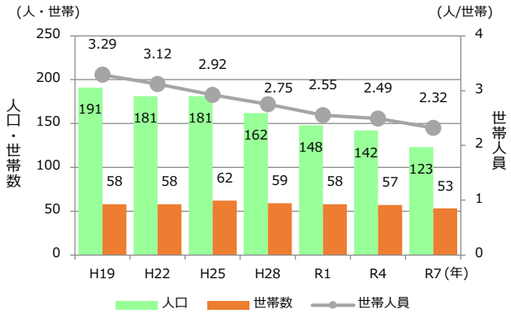
所属自治区	浅野自治区

地区の概要	位　置
●浅谷は、旧旭町の北部に位置し、旧岐阜県三濃村の中心地であった。旭村との合併後、高度成長の影響で過疎化が進み、小中学校が統合により廃校となった。跡地が浅野会館、郷土資料館、消防署旭出張所として整備され、現在も浅野自治区の中心地である。 ●集落中央の山を取り巻くように民家、農地が分布している。 ●昭和 51 年北部山頂にゴルフ場がオープン、来客の増加につれ集落中央を通る県道が改良された。	

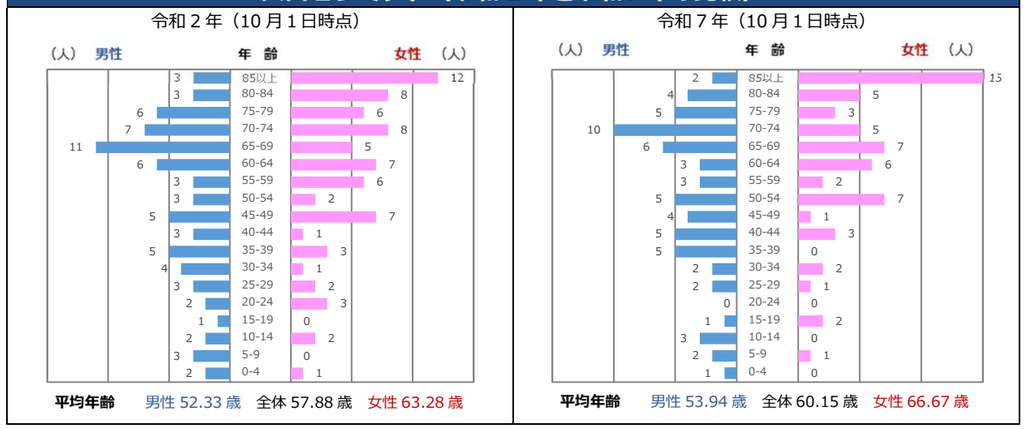
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	足助消防署旭出張所、浅野会館、浅谷駐在所、ゴルフクラブ大樹旭コース、三濃建設㈱（建設業）、
交通状況	地域バス（浅谷不動・浅谷・浅野会館・浅谷小坂）
消防・警察	足助消防署 旭出張所０分（0.0 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		453ha
人口	計	123 人
	男　性	63 人
	女　性	60 人
	0～14 歳	7 人
	15～64 歳（30～64 歳）	54 人（48 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	62 人（34 人）
世　帯　数		53 世帯
平均世帯人員		2.32 人/世帯

人口・世帯数の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

須渕町 集落ビジョン

須渕町の良いところ

・明智川沿いにレンギョウが千本ほど植栽されています。
・集落中央付近の山に、弘法さん 88 体が祀ってあります。
・県道豊田明智線を挟むように集落と農地が集中しています。

須渕町のめざす姿

・高齢者が、安心して生きがいを持って生活できる地域をつくります。
・レンギョウを生かした景観整備を維持します。

須渕町のおもな取組

重点取組項目１　気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住
子育て、学び・育ち
健康づくり

・住民参加による景観整備作業の実施

重点取組項目２　安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉
道路・交通、生活
防災、交通安全・防犯

・あさひ緊急時連絡先情報カードを活用した緊急事態への備え

重点取組項目３　美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）
観光・交流
まち、歴史・文化

・レンギョウ周辺の整備を続け、旭の花街道の一つとした景観保全

須渕町 集落点検カルテ

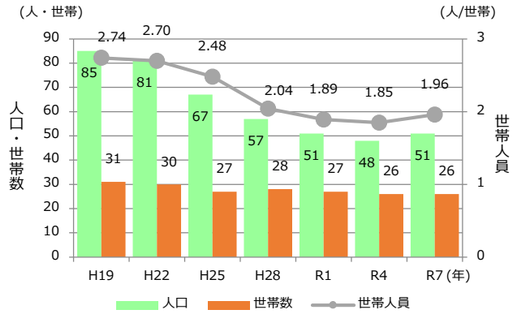
所属自治区	浅野自治区

地区の概要	位　置
●須渕は、旧旭町の北部に位置し、東部、北部は岐阜県恵那市に隣接している。明治以来、浅谷村、三濃村、旭村に合併を重ね、平成 17 年豊田市への合併により須渕町となる。 ●集落の東部境界を明智川が流れ、川の西部に土石流堆積の平地があり、その中央を抜ける県道に沿った両側に民家が分布している。 ●集落の世帯数は、県道沿いの立地条件から減少は少ないが、高齢化が進み人口は減少している。	

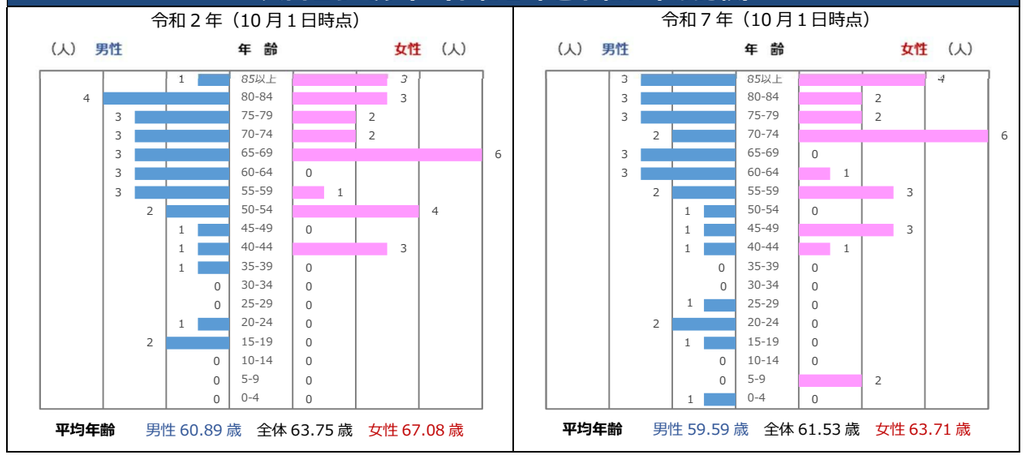
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（須渕・須渕若里）
消防・警察	足助消防署 旭出張所４分（2.2 ㎞）、浅谷駐在所

基本データ（令和７年 10 月１日時点）		
面　積		106ha
人口	計	51 人
	男　性	27 人
	女　性	24 人
	0～14 歳	3 人
	15～64 歳（30～64 歳）	20 人（16 人）
	65 歳以上（75 歳以上）	28 人（17 人）
世　帯　数		26 世帯
平均世帯人員		1.96 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移



人口ピラミッド（令和２年と令和７年の比較）



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

第２次旭地区まちづくり計画

〔２０２１～２０３０〕

集落ビジョン

後期・２０２６～２０３０

策 定　　各 町 内 会

編 集　　旭地域会議・豊田市 旭支所

豊田市小渡町船戸 15-1　TEL 68-2211　FAX 68-3476

asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

２０２６年2月